

精
選

ふるさと

手づくり郷土賞

平成28年度

第31回

大賞部門

一般部門



手づくり郷土賞について

4

手づくり郷土賞グランプリ2016 ～磨いて 光った 郷土自慢～

6

講評

全体講評	10
選定委員講評	11

大賞部門

1 助川山市民の森 ドングリの森づくり 茨城県日立市	14
2 歴史と海峡を活かしたまちづくり ～門司港レトロ～ 福岡県北九州市	16

一般部門

1 奇跡の湿原を次世代へ ～キウシト湿原の保全と活用～ 北海道登別市	18
2 桜ライン311 ー未来へのまちづくりー 岩手県陸前高田市	20
3 新庄市エコロジーガーデン ー先人が築いた歴史を次の世代へー 山形県新庄市	22
4 「鹿嶋神の道」づくり 茨城県鹿嶋市	24
5 不法投棄されていた土地を地元の手で憩いの場に! 夢のひろばづくり 茨城県神栖市	26
6 足利の魅力再発見! ～高校生のロケツアーリズム～ 栃木県足利市	28
7 日本の近代化を支えた足尾の産業遺産等を活用した地域おこし 栃木県日光市	30
8 人もコウノトリも棲めるふるさと鴻巣づくり ～つたえよう豊かな自然環境を未来の子どもたちへ!～ 埼玉県鴻巣市	32
9 地域でつくるエキコンの賑わいとキレイなまち鴨居 神奈川県横浜市	34
10 羽越水害の教訓を伝える「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」新潟県関川村	36
11 人々の生活とつながりを育む河川 ～佐奈川を美しくする会の取り組み～ 三重県多気町	38
12 せつぶん草で集落の「誇りと絆」づくり 京都府南丹市	40
13 密集市街地の小さな広場を活用した地域防災力向上に向けた挑戦。大阪府大阪市	42
14 身近な自然に気づき、川と始める 川から始まるまちづくり ～川に近づき、川を利用、川で遊び、美しい川を創る～ 広島県広島市	44
15 カヤックで目指す四国のまほろば ー吉野川河畔ふれあい広場ー 徳島県美馬市	46
16 We Love 石手川 河川大清掃 ～河川環境改善による四国最大の親水空間の創出～ 愛媛県松山市	48
17 流域住民主体で四万十川の環境保全と地域活性化の活動 高知県四万十市	50
18 郷土の宝・財産「山田堰・堀川用水・水車群」を地域で守ろう 福岡県朝倉市	52
19 ふるさとへの熱い思いが奇跡の堤防を産んだ 宮崎県延岡市	54
20 国場川こいのぼりまつり ー少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを…そんな街に住みたい!ー 沖縄県那覇市	56

資料編

年度別テーマ一覧	58
選定案件一覧	60

ふるさと
手づくり郷土賞

■ 大賞部門
■ 一般部門



3 新庄市エコロジーガーデン ー先人が築いた歴史を次の世代へー



1 奇跡の湿原を次世代へ ～キウシト湿原の保全と活用～



10 羽越水害の教訓を伝える「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」



7 日本の近代化を支えた足尾の産業遺産等を活用した地域おこし



6 足利の魅力再発見！
～高校生のロケツアーリズム～



8 人もコウノトリも棲めるふるさと鴻巣づくり
～つたえよう豊かな自然環境を未来の子どもたちへ！～



12 せつぶん草で集落の「誇りと絆」づくり



14 身近な自然に気づき、川と始める 川から始まるまちづくり
～川に近づき、川を利用、川で遊び、美しい川を創る～



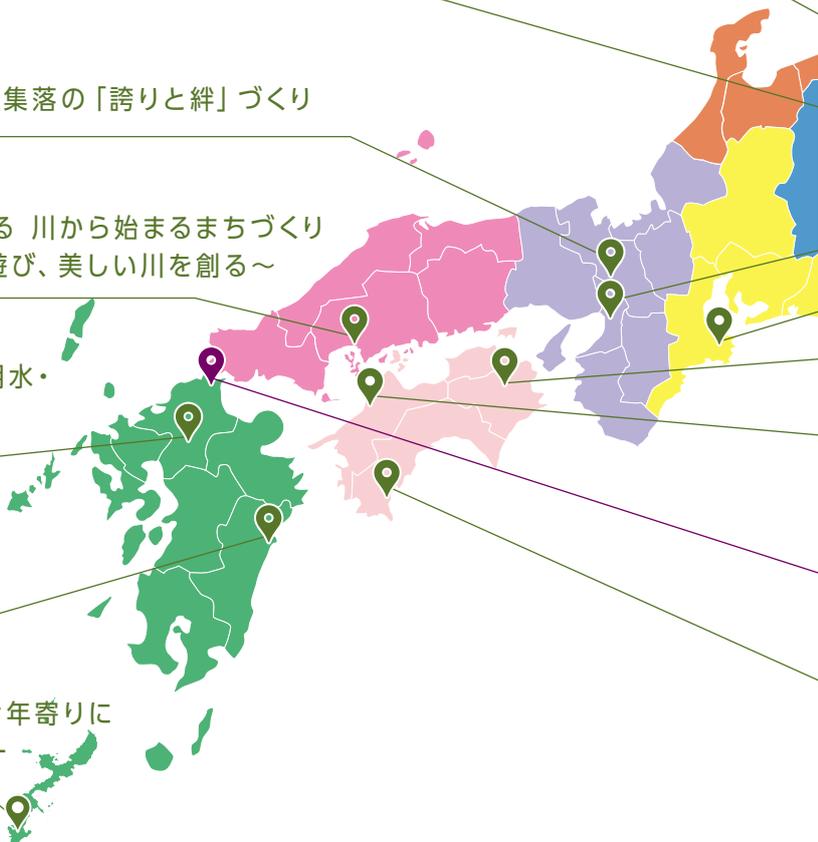
18 郷土の宝・財産「山田堰・堀川用水・水車群」を地域で守ろう

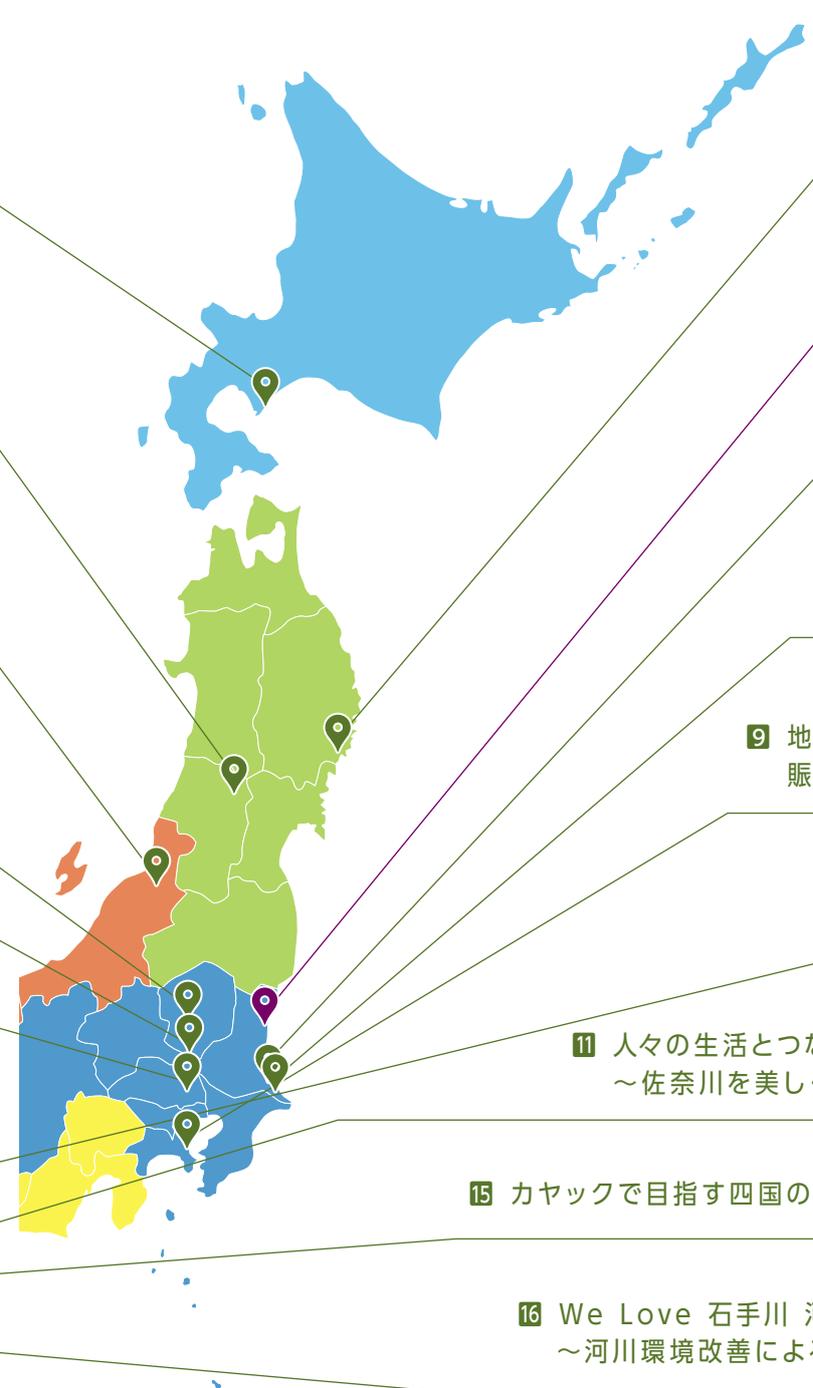
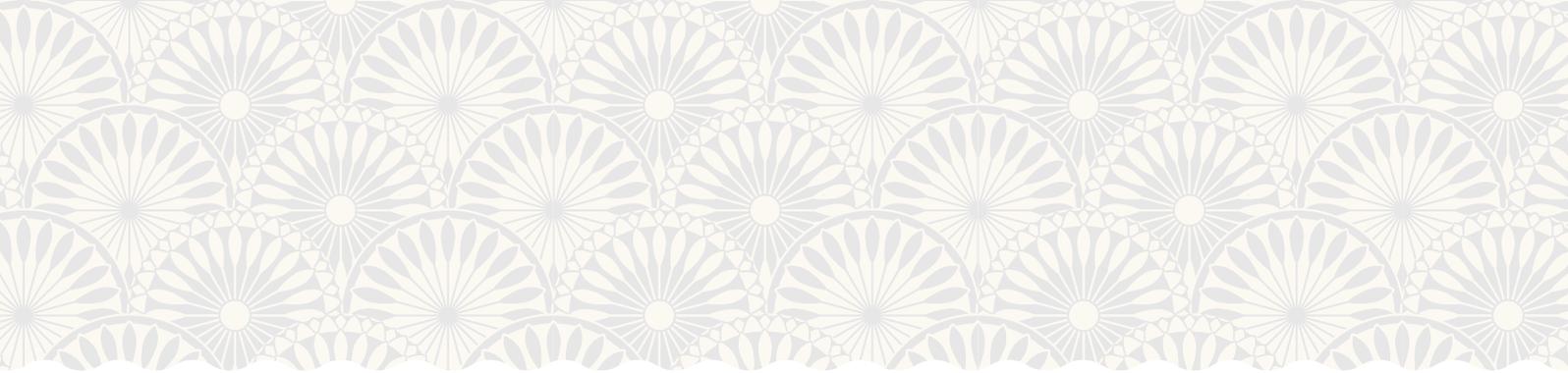


19 ふるさとへの熱い思いが
奇跡の堤防を産んだ



20 国場川こいのぼりまつり
ー少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに
誇りを…そんな街に住みたい！ー





2 桜ライン311
—未来へのまちづくり—



1 助川山市民の森
ドングリの森づくり



4 「鹿嶋神の道」づくり



5 不法投棄されていた土地を
地元の手で憩いの場に！
夢のひろばづくり



9 地域でつくるエキコンの
賑わいとキレイなまち鴨居



13 密集市街地の小さな広場を活用した
地域防災力向上に向けた挑戦。



11 人々の生活とつながりを育む河川
～佐奈川を美しくする会の取り組み～



15 カヤックで目指す四国のまほろば —吉野川河畔ふれあい広場—



16 We Love 石手川 河川大清掃
～河川環境改善による四国最大の親水空間の創出～



2 歴史と海峡を活かしたまちづくり ～門司港レトロ～



17 流域住民主体で四万十川の環境保全と
地域活性化の活動



手づくり郷土賞について

「手づくり郷土賞」の背景 および目的

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれてきています。

「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成28年度で31回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

平成28年度は、地域の魅力や個性を生み出している、社会資本※及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を表彰する「手づくり郷土賞（一般部門）」、これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、なお一層の活動の充実が行われるなど地域づくりに貢献しているものを表彰する

「手づくり郷土賞（大賞部門）」の2部門にて実施しました。

このほか、今回が初となる「手づくり郷土賞グランプリ2016～磨いて 光った 郷土自慢～」を開催し、受賞団体の中から、一般部門・大賞部門それぞれのグランプリと、ベストプレゼン賞を決定しました。

※原則として社会資本は国土交通省が所管するもの

「手づくり郷土賞」の 選定対象

◆「手づくり郷土賞（一般部門）」

（募集対象）

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果

（選考のポイント）

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫（地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成 等）
- ②地域活動における創意・工夫、取組の獨創性（新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組 等）
- ③地域づくりへの成果及び波及効果（地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果 等）
- ④今後の活動の継続性・発展性（住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫 等）
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他（上記以外の特に優れた内容）

◆「手づくり郷土賞（大賞部門）」

（募集対象）

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果（たとえば、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含み内容が更に充実している成果、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を核とした周辺エリアを含む成果など）

（選考のポイント）

一般部門の選考のポイントに加え、大賞部門においては以下のポイントも重視しています。

- ⑦社会資本の地域への定着状況（地域のシンボルと

して広く認識されている、多くの地域住民が日常的に利用している 等)

⑧活動の継続状況(規模を広げながら着実に継続している 等)

⑨活動の発展状況(新たな取組を創出している、他地域へ波及している 等)

募集方法と選定

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体(都道府県、市区町村)との共同で応募するものとします。地方整備局等で受け付けた応募資料をもとに、学識者等からなる手づくり郷土賞選定委員会による厳正な審査をした上で成果を選定します。

選定結果

平成28年6月から9月にかけて募集を行い、全国から「手づくり郷土賞(一般部門)」に39件、「手づくり郷土賞(大賞部門)」に5件、合計44件の応募がありました。

平成28年11月に開催された「手づくり郷土賞選定委員会」において、各選定委員により様々な観点から選考が行われ、「手づくり郷土賞(一般部門)」に20件、「手づくり郷土賞(大賞部門)」に2件、合計22件が選定されました。

認定証の交付

受賞団体には、各地方整備局長などを通じて、認定証が授与されるとともに、副賞として盾が贈呈されました。



手づくり郷土賞グランプリ2016

～磨いて 光った 郷土自慢～

手づくり郷土賞グランプリ2016の概要

昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」は、平成28年度で31回目を迎えました。

27年度には、30回目という節目を記念し、公開審査会を開催しました。公開審査会では、書類選考を通過した応募団体からプレゼンテーションをいただき、公開討論を経て受賞団体を決定しました。

公開審査会の参加した応募団体や来場者にアンケート調査を実施したところ、「来年も継続して欲しい」、「審査は非公開の方がよい」など様々なご意見をいただきました。

これらの結果を踏まえて、31回目となる平成28年度は、今回が初となる「手づくり郷土賞グランプリ2016 ～磨いて 光った 郷土自慢～」を開催する運びとなりました。グランプリでは、平成28年度手づくり郷土賞の選定団体全22団体からプレゼンテーションいただき、手づくり郷土賞選定委員会の選考により、一般部門、大賞部門それぞれのグランプリを決定しました。また、グランプリのほか、会場参加者の投票により、ベストプレゼン賞も決定しました。

◆ 手づくり郷土賞グランプリ2016の概要

目的：手づくり郷土賞に選定された優れた地域づくり活動を広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が推進されることを目的として開催

日時：平成29年1月22日（日）10時00分～15時00分

場所：昭和女子大学 コスモスホール

（東京都世田谷区太子堂1-7-57 80年館西棟6階）

参加者：186人

グランプリ2016の開催結果

1. 開会挨拶

齋藤委員長から開会挨拶をいただきました。

2. ルール説明

総合政策局の藤井事業総括調整官が司会を務め、ルールや注意事項を説明しました。

◆ グランプリ等受賞団体の決定方法

手づくり郷土賞グランプリ2016では、受賞団体の中から、一般部門、大賞部門それぞれのグランプリを決定します。また、会場参加者の皆さんからの投票により、ベストプレゼン賞を決定します。

(1) グランプリ（一般部門、大賞部門）

・グランプリについては、一般部門、大賞部門の各部門で、最も優れている活動を選定委員の合議により決定します。

・選定委員は、各団体からのプレゼン及び応募資料を踏まえ、総合的に評価します。

(2) ベストプレゼン賞

・ベストプレゼン賞については、会場参加者の皆様から投票いただき、部門を問わず、最も獲得票の多い団体に決定します。

◆ 評価のポイント

投票を行う上での評価ポイントは以下のとおりです。

- ① 活動内容が優れていたか。
- ② 活動内容や活動の意気込みが伝わったか。
- ③ プレゼンが工夫されていておもしろかったか。



〔委員長挨拶〕



〔司会によるルール説明〕

3. 応募団体によるプレゼンテーション

各団体から活動のプレゼンテーション（発表3分、質疑3分）をしていただきました。



〔足利清風高校のプレゼンの様子〕



〔会場の様子〕

4. グランプリ等受賞団体の発表・講評

すべての団体のプレゼンテーションが終わった後、会場からの投票・集計、選定委員によるグランプリの審査を行い、齋藤委員長より受賞団体の発表を行いました。受賞団体からは一言ずつ感想いただき、最後に選定委員から講評をいただきました。

◆ 受賞団体の発表・感想

グランプリ2016（大賞部門）

■ 歴史と海峡を活かしたまちづくり ～門司港レトロ～



門司港レトロ倶楽部
／北九州市

良いまちには安心安全が大切。3年後のオリンピックのためにも落書きが無いまちを作る秘訣をもっと伝えていきたい。

グランプリ2016（一般部門）

■ 桜ライン311 ～未来へのまちづくり～



認定非営利活動法人
桜ライン311／陸前高田市

最終ゴールの1万7千本の桜の植樹には、まだこれから20、30年かかるが、全国の皆さんと一緒に頑張りたい。

■ ふるさとへの熱い思いが奇跡の堤防を産んだ



天下一ひむか桜の会
／延岡市

昨年から応援してくれる人が増えてきて可能性を感じている。賞を貰うことで活動を後押しされるので、今後も故郷の憩いの場づくりを頑張りたい。

ベストプレゼン賞

■ 足利の魅力再発見！～高校生のロケツアーリズム～



栃木県立足利清風高等学校
／足利市

活動を通して多くの経験をさせてもらった。私達3年生は活動が終わってしまうが、後輩に引き継いでいく。是非、足利に遊びに来てください！

◆ 選定委員の講評

齋藤委員長



普通、何か想いがあっても、それを口に出しても相手にしてもらえないことが怖い。受賞活動の多くは、誰かが何かを言い出し、賛同されることから始まり、輪が広がっている。これを十年以上も継続するという信頼関係は素晴らしい財産。大切にして活動を続けていって欲しい。

田中委員



地域資源は人の手を介さないと光らない。みなさんの活動により新たな価値が生まれました。日常では褒められることはあまりなくても、真摯に取り組みを継続することで、仲間ができ、気持ちの輪が広がるのだと感じた。是非、大賞を目指して活動を継続して行って欲しい。

荻原委員



地域創生は住む人が自分の街をマイナスからプラスに良くしていこうという気持ちから始まる。活動されている方はご高齢の方も多かったが、生き生きしており、元気な日本を作っていく秘訣だと感じた。また、若い人の志向で地元のパワーを巻き込んでいる事例もあり、すごく可能性を感じた。

平野委員



どの活動が良い悪いではなく、すべてが尊く素晴らしかった。自分の郷土を良くしようと活動していることこそが素晴らしいこと。せつかくの縁なので、是非、お互いに繋がってもらい、活動を遠くに広げてほしい。まだまだ日本も捨てたもんじゃないと思った。

鈴木委員



「思いが伝わる、繋がる、広がっていく」過程を3分間に凝縮してもらった。中身はもちろん、プレゼン方法・伝え方にもそれぞれ個性があった。多様なまちづくりがあることに感心するとともに、未来に向けての希望を感じた。

藤田委員



地域活動の多様性を改めて感じた。発表時間が3分と短く申し訳なかったが、限られた時間のなかで思いの伝わるプレゼンだった。「手づくり郷土賞」が皆さんにとって、よりよい表彰制度になるように努めてまいりたい。

5. 記念撮影

参加いただいた団体、選定委員の皆さんで記念撮影を行いました。



〔記念撮影①〕



〔記念撮影②〕

Facebookページ による配信

手づくり郷土賞グランプリ2016の開催にあたり、参加者や関心のある方に少しでも団体の活動を知っていただくため、Facebookページにより、事前に各団体の活動PRを配信しました。また、当日にはグランプリの様子を配信しました。

◆ [手づくり郷土賞Facebookページ](https://www.facebook.com/mlit.tedukuri/)

<https://www.facebook.com/mlit.tedukuri/>

全体講評

手づくり郷土賞は、昭和61年度に創設され、平成28年度で31回目を迎えました。今年度も、全国各地から、数多くの優れた取組の応募をいただきました。それぞれの地域を良くしていこうという想いが伝わってきて、甲乙付けがたいものばかりでした。

今年度は、今回が初となる「手づくり郷土賞グランプリ2016～磨いて 光った 郷土自慢～」を開催しました。グランプリでは、手づくり郷土賞の受賞団体の皆様にプレゼンテーションを行っていただき、団体の熱意や思いに触れることができ、選定委員会としても大変有意義で貴重な時間を過ごすことができました。

また、グランプリに参加した多くの団体の方々から、「他の団体の活動を聞いて大変有意義であった」などのご意見をいただきました。このような有意義な時間を共有できたことは、ひとえに受賞団体の皆様のおかげです。改めて感謝申し上げます。

今後も、受賞された団体および地域においては、活動の継続および更なる発展にご尽力いただくとともに、各々特徴ある地域づくりが進んでいくことを、選定委員会一同期待しています。

第31回 手づくり郷土賞選定委員会

委員長	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
	荻原 礼子	結 まちづくり計画室 代表・まちづくりプランナー
	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
	平野 龍平	富士急行株式会社 交通事業部 兼 グループ事業部 プランナー
	藤田 耕三	国土交通省総合政策局長

選定委員講評

齋藤 潮 委員長

「手づくり郷土賞」受賞おめでとうございます。受賞団体各位に心より祝意を表したく存じます。さて、わたくしはグランプリとベストプレゼン賞のことをご説明して講評に代えたいと思います。平成28年度は、「手づくり郷土賞」受賞団体に活動の内容を口頭発表していただき、同賞とは別にグランプリとベストプレゼン賞を即日決定する仕組みにして、交流の場を盛り上げようと工夫してみました。

グランプリは一般、大賞の部門別に選定委員が選定しましたが、「郷土賞」決定時点(書類審査)での優劣は問うていません。それは、口頭発表と直後の応答で、活動の意義がより鮮明になる場合もあるからです。結果として、一般部門では2団体が票を分けました。どちらも活動の中心に桜があり、願いや希望の象徴となっているのは偶然ながら印象に残りました。大賞部門では、港湾再開発後、永きにわたって環境創造を続けてこられた団体の知恵と工夫におおかたの選定委員が反応し、グランプリの票を投じたようです。

ベストプレゼン賞は会場の皆さんに投票いただきました。その結果、ロケツーリズムを企画・運営している高校生諸君が受賞しました。郷土愛にあふれ、若々しくも堂々とした発表に来場者の心が引き寄せられたようです。新年度以降も新しいメンバーに活動が引き継がれることを願って止みません。

荻原 礼子 委員

「地方創生」という旗が大きく振られています。ここで紹介する取り組みはどれも、本当に地域発、個々人の思いやつながりから生まれて育った地域おこしの運動です。

その源泉には、元気のなくなってきた地域コミュニティの姿、解決すべき地域課題、次世代に伝えたい(埋もれた)地域資源があります。

長く続けるのは大変でしょうし、次々と問題も発生するでしょうが、それを乗り越えて新しい地域の自慢を創出された。手づくり郷土賞は、そのご努力に感謝する賞だと思います。

ここに紹介するのは、「予算があればつくれる環境」ではなく、人の輪からしか生まれ得ない魅力的な場所、ふるさとの風景です。

今年は、UターンやIターンのクリエイターによる歴史的建物活用の活性化拠点づくり、高校生の観光おこしへのアクションなど、若い世代の創造的なチャレンジも登場しました。

どの世代にとっても、地域おこしの取り組みが、自己実現の場であり地域で楽しく暮らすための仲間づくりになっていることを実感します。これらの事例を広く紹介することで、地域発の元気の種が全国に広がることを期待しております。

鈴木 伸治 委員

グランプリ当日、全国のまちづくり事例の報告を聞いて、改めてまちづくりの多様さに感心しました。すべての事例が「手づくり郷土賞」の受賞事例であり、十分な実績を残されていましたが、その中でも更なる可能性を感じる報告も多くありました。一般部門グランプリの「桜ライン311」の活動は震災復興の取り組みの中でも、津波到達ラインに桜を植樹することが、新しい陸前高田の風景をつくるという未来の可能性を感じさせるものでした。同じく一般部門グランプリの「天下一ひむか桜の会」の活動も故郷延岡を離れた関東在住同窓生の思いがきっかけとなった植樹活動であり、これからの地方創生のヒントとなるものでした。

これらの他にも、「新庄市エコロジーガーデン」の活動では、歴史ある建物を活かしたマルシェイベントを通して、若い世代が楽しみながら新しいつながりを作り、地域に目を向けている点に可能性を感じました。この他にも絶滅危惧種のセツブンソウの群生地での保全活動がIターンに結びついた「中世木せつぶん草を守る会」の活動も印象的でした。やはり人のつながりが地域の新たな可能性を切り開くのだと再認識させられる発表会でした。

関 幸子 委員

手づくり郷土賞を受賞されました地域、団体の方々に心よりお喜び申し上げます。毎年全国からの応募があります。いずれも自治会、NPO、学校、地域団体であり、その取り組みの中には何十年にわたり継続しているものもありました。受賞された地域では、高齢者から子供たちまで幅広い方々が参加され、「地域資源を活かして子供たちが川に触れ合いその活動から安全と危険の境目を学ぶ河川保全活動」、「桜を津波到達ラインに植えて、津波の恐れがあるときは桜並木より上に避難するよう伝承されている活動」、「小さい空き地を地域コミュニティの核として、毎日そこに携わることで継続した顔の見える関係性を作り上げた事業」、「森や畑を育てる地域再生事業」、「健康増進を目指した活動」、「景観や文化を守る観光事業」など幅広い活動をされていました。

地域が生き生きするためには、そこに暮らす一人一人が安心して暮らしていくことが大切です。手づくり郷土賞が今後も、地域のコミュニティを育む様々な活動、連携や協働のきっかけを作り、参加された方々の誇りになることを願っています。最後に、受賞されました地域のますますのご活躍と発展を祈念いたします。

田中 里沙 委員

地域資源は、長い歴史や伝統によって培われた魅力を多大に含みながらも、たいていは埋もれてしまっています。各地域には、地元にある多彩な社会資本を見つめ、かつての輝きを取り戻せるのではないかと気づき、仲間を募り、活動を始める人々がいます。それが手づくり郷土賞の担い手であり、今回の受賞者の方々なのだと思います。まずは、この状況からよく「資源」を発見したという発想・着想の素晴らしさそして、一番の理想である構想を掲げて、熱意をもって周囲に声をかけ、時には説得し、支援者・賛同者・参加者を獲得し、広げていく活動のパワーが宝物だと感じます。完成した街並み、河川敷、公園等は美しく、地域に憩いや楽しさを提供してくれるだけでなく、新たなコミュニケーションの場として花開いています。人の手が入り続けることによって、郷土の資源は一層の確かさをもたらすのだと実感させてもらいました。

人が集まれば、賑わいが創出されます。グランプリ参加者の方々は、地元の社会資本をわが子のように育て、未来に引き継いでいこうとしていました。自分の事よりも周囲の事を優先し、「自分がやらねば誰がやるのか」との強い使命感を持たれていました。拝読したすべての資料、そして受賞団体のプレゼンテーションから、審査を通して多くの気づきを得ました。受賞により他地域からも注目が集まることで、今後のさらなる継続発展に期待をしています。

平野 龍平 委員

昨年度は、書類選考後、公開審査会のプレゼンで「手づくり郷土賞」を選ぶという、初の試みで、参加団体だけでなく、選考委員にも大変な重荷でしたが、本年度は、「手づくり郷土賞」に選ばれた中からプレゼンで各部門のグランプリを選出する、という形式に替わり、ストレスがかなり軽減されました。

活動現場を見ずに、書類選考だけで選定するのは無理がありますが、プレゼンの場を設けることで、活動されている皆さんの熱意が伝わり、新たな気づきも多く、想いを共有する「交流の場」としての役割も果たしています。

云うだけで何もしない、気付いても気付かないふりをする人が多い中、故郷を少しでも良くしよう、と自ら考え、行動を起こし、楽しみながら活動を継続しておられる皆さんは、どなたも光輝いていて、第三者が評価をしたり、順位等を付けるべきではなく、ましてや、小職が選考させていただく立場にあるのか、甚だ疑問ではありますが、現地表彰式に出席して活動現場を拝見すると、この表彰が励みとなってさらに活性化し、地域活動の輪を拡げる波及効果も生んでいることを実感します。

参加された団体の皆さんのより一層のご活躍と活動のご発展を祈念申し上げます。

助川山市民の森 ドングリの森づくり

1 社会資本の概要

助川山市民の森は、平成3年3月に発生した日立市市街地西側山地での森林火災の跡地の内、約150ヘクタールを市が森林公園「助川山市民の森」として整備し、平成10年3月から開放しました。公園内各所からは、太平洋を遠望でき、年間を通じて日立市民や県内外からの登山者やハイカーで賑わっています。

公園開設（平成10年）以来、18年間、毎年300～400本のドングリの木（クヌギ・コナラ）の植樹を続け（累計7,000本超）、現在も豊かな里山造りが進んでいます。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「NPO法人 森の自然学校 助川山保全くらぶ」は、公園整備中にゴミ拾い等を行いながら歩いていた有志により、公園育成の応援を目的に発足し、森林火災により荒廃した山に個性的で魅力的な森を再生する活動「ドングリの森づくり」を展開しています。

活動においては、幅広い市民に助川山の自然を楽しんで頂くために、保育園児、障害者（団体・個人）などに対する積極的なハイキング案内や、公園を紹介する各種パンフレットを自ら作成・配布し、訪れた方々に公園に棲む動植物を知ってもらうことで親しみを持って頂いています。

また、地元成沢小学校6年生全員参加による卒業記念植樹会の定例化や、日立市主催の環境フェスタ（エコフェス日立）及び日立市子ども祭りに毎年ブースを出展し、木工工作教室を開催することで、子供たちへの自然環境保全教育にも力を注いでいます。



毎年7月は日立市のエコフェス日立に出展参加
木工工作教室は大好評



【保育園児へのハイキング案内】
子どもたちのハイイクは案内者も楽しい。子ども達が自然の中で
経験する感動や発見を大切に豊かな感性を育てていきます



日立市成沢小学校6年生卒業記念 ドングリの木植樹会



茨城県 日立市

特定非営利活動法人 森の自然学校 助川山保全くらぶ／日立市

3 活動の成果や波及効果等

当くらぶの活動の柱として毎年2～3月にドングリの木植樹会を3回に分けて実施しています。①日立市林業探検少年団、②成沢小学校6年生全員、③一般市民及び保育園児と保護者の3回、クヌギとコナラの植樹を15年以上続け、累計本数は7,000本を超えました。豊かな里山作りに貢献し、自然環境保全に関する子どもたちへの教育効果は計りしれないものがあります。



日立市林業探検少年団の除草刈り実習風景
子どもたちは、小鎌と大鎌の使用を経験しました

4 前回受賞時からの活動の発展内容

平成16年度の前回受賞時と比べて、会員の高齢化と少人化が進んでいますが、作業を機械化する機材の導入と、その機材の使用習熟により、活動規模は確実に継続・拡大しています。

受賞以降は、日立市の環境フェスタ、子ども祭りなどに木工教室の出前参加や、ネイチャーセンター駐在による来場者の案内、「林業探検少年団」の活動支援などの活動を新たに始めています。

喜びの声



受賞者

NPO法人 森の自然学校 助川山保全くらぶ
理事長 多田 恒雄

コメント

18年間、地道に続けてきたボランティア活動が評価されたものとして、会員一同、大変喜んでおります。
この受賞を励みとして、今後も、よりよい公園作りを目指して頑張ると共に、会員相互の親睦や健康増進のためにも、愉快な楽しい活動を続けてゆきます。

活動内容

- ・公園内の森林の保全と施設、遊歩道の整備
- ・幼児や障害者のハイキング支援、案内
- ・植樹会、巣箱教室、木工工作教室の開催 など

活動の経緯

平成10年 任意団体としてボランティア活動開始
 平成14年 日立市より「公園パトロール」を受託
 平成16年 日立市と「公園里親協定」を締結
 組織を任意団体からNPO法人に変更

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

茨城県 日立市 助川町地内

活動主体及び連絡先

NPO法人 森の自然学校 助川山保全くらぶ (0294-32-3972)
HP: <http://www.net1.jway.ne.jp/zg6y-hri/>

対象となる社会資本

助川山市民の森 ※管理者:日立市



歴史と海峡を活かしたまちづくり ～門司港レトロ～

1 社会資本の概要

門司港レトロ地区は、古くは源平合戦や宮本武蔵と佐々木小次郎の巖流島の決闘など、歴史上でも度々登場する関門海峡を挟んだ本州と九州の結節点に位置しています。門司港地区から和布刈地区にかけてのこの地域は、エキゾチックな面影を残す数多くの歴史的建造物、変化に富んだウォーターフロント、美しく雄大な自然景観など魅力ある資源を有しています。

現在、明治・大正・昭和初期の歴史的建造物を修復・活用して、官民が一体となって「まちづくりと観光地づくり」に取り組んでいます。また、門司港レトロ倶楽部などのまちづくり団体が、文化的な催し、食に関するイベント、イルミネーションやひなまつりなど季節ごとに様々なイベントを20年以上継続しています。



門司港レトロ地区



旧門司税関

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

かつては、日本三大国際貿易港に数えられた門司港も、港湾機能の移転や関門トンネルなど道路交通インフラの整備によって、通過都市となり、次第に都市機能が衰退していきました。そのような中、取り壊しの危機にあった旧門司三井倶楽部など歴史的建造物の保存運動を契機として、それらを活用した観光振興と地域活性化を図るため、官民一体となった「門司港レトロ事業」が立ち上げられました。平成7年には門司港レトロ倶楽部が6団体で設立されました。あえてNPO法人格を取得せず、加入や活動をしやすくしたことで、現在では参加団体が36団体までに増加しています。また、その活動は、団体・民間・行政が一体となって取り組んでおり、「まちあるき」などイベントの企画・実施のほか、市への地域活性化方策の提言、ご当地グルメ「門司港発祥焼きカレー」など新たな観光素材の発掘、観光キャンペーン、情報誌の発行、ホームページによる情報発信など幅広い事業に取り組んでいます。



旧門司三井倶楽部とまちあるき



関門海峡花火大会



福岡県 北九州市

門司港レトロ倶楽部／北九州市



3 活動の成果や波及効果等

門司港レトロ倶楽部を中心とした活動団体が、多様なイベントを企画・推進しており、小さなものまで入れると、今では年間600件以上の催しが行われています。平成6年に約25万人だった観光客が平成27年には約212万人に達するなど、北九州市を観光の街へとイメージ転換させ、レトロ地区は県内でも屈指の観光スポットに定着してきています。また、地域住民の意見を集約した行政への独自の提言が、反映・実現されることで、地域住民のまちづくりへの参加意識や、地域への関心も高まっています。



門司海峡フェスタ



門司港ビアフェスタ

4 前回受賞時からの活動の発展内容

「三宜楼」や「旧大連航路上屋」等の歴史的建造物の新たな活用策をはじめ、県境を越えたまちづくり団体との連携や、「まちあるき」による商店街等の周辺地域への回遊性向上、食のイベントの充実・協力など、新たな観光客層の掘り起こしを図り、来訪者の増加につなげています。

喜びの声



受賞者

門司港レトロ倶楽部
会長 高橋 泰雄

コメント

この受賞はこれまで門司港の観光まちづくりに関わってこられた全ての方々による功績です。これからも地域一帯となって門司港レトロを更に発展させるべく尽力致します。

活動内容

歴史的建造物の保存・活用、まちづくり提言、観光イベント開催、観光PR など

活動の経緯

平成 7年 会の発足
平成17年 北九州市表彰「まちづくり功労賞」受賞
平成27年 20周年記念事業「門司港『揺らぎ』の芸術祭」開催

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

福岡県北九州市門司区（西海岸、港町、東港町、清滝、和布刈ほか）

活動主体及び連絡先

門司港レトロ倶楽部（093-332-0106）※功労者名：佐久間 進、吉崎 修司

対象となる社会資本

門司港レトロ地区の歴史的建造物と関門海峡に面したウォーターフロント
※管理者：北九州市



奇跡の湿原を次世代へ ～キウシト湿原の保全と活用～

1 社会資本の概要

キウシト湿原は、住宅や店舗などに囲まれ、住宅地の中にある奇跡的に残った面積約4.8haの湿原です。「キウシト」とはアイヌ語で「カヤ、群生する、走り根」という意味です。

環境省のレッドリストに絶滅危惧種として指定されているエゾホトケドジョウのほか、準絶滅危惧種として指定されているオオミズゴケやオオバタツボスミレなど、貴重な動植物が多数生息しており、このような重要性が認められ、平成13年には環境省の「日本の重要湿地500」に選出されました。

市街地にあることから、市民に身近な存在であるキウシト湿原は、登別の原風景を後世に伝える大切な道しるべです。



住宅地に囲まれたキウシト湿原全景



湿原内は木道が整備されており、車いすでの利用も可能

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「貴重な湿原を守りたい」、「子どもたちに登別の財産を残したい」という思いから活動を始め、湿原の保全・再生に当たっては、初期段階から市、市民、専門家によるワーキンググループを立ち上げ方策を検討するなど、三者協働で取り組んだ結果、外来植物の繁殖を抑え、在来植物が少しずつ復活するなど生態系が回復しました。

また、住宅地の中にある地の利を生かし、ミズバショウやホタルの鑑賞会など各種イベント、小学校の総合学習、「笹舟づくり」などの工作体験などを催すことで、市民の憩いの場、次世代を担う子どもたちの学習の場として定着しています。

多くの市民に「自分たちが守り育てている登別の宝」という誇りと愛着を持って、保全に関われるよう普及啓発に努めています。



在来植物（希少種）の育成、移植



小学校総合学習における生き物調査



子どもたちに大人気のホタル鑑賞会



北海道 登別市

特定非営利活動法人 キウシト湿原・登別

喜びの声

3 活動の成果や波及効果等

平成27年4月の一般開放後、平成28年は来園者が前年度を上回るなど、市内だけでなく、特に自然愛好団体など市外からの来園者が増えています。キウシト湿原は新たな観光スポットとして、温泉街周辺に偏りがちな観光客を呼び込み、「全市観光」を掲げる地域の期待に応えています。

また、ガイドを受けた一般客が貴重な湿原に感動して入会し今度はガイドする立場になったり、近所の子どもたちが準会員のように、一般客や友達に説明をしてくれるなど、湿原、自然環境の重要性を普及啓発できる人材も次世代へ広がっています。



毎回多くの市民が参加するミスバショウ鑑賞会



生徒が学習の内容を個性豊かに作成した「生き物新聞集」



受賞者

特定非営利活動法人キウシト湿原・登別
理事長 堀本 宏

コメント

市、市民、専門家の三者協働で、みんなが頑張った結果、自然保護だけではなく、まちづくりの観点で評価をいただけたことは、うれしい一言です。今後、教育関連を含め、受け入れ態勢をどうするかなど課題もありますが、登別の宝として誇りと愛着を持って活動を続けていきたいと思っています。

活動内容

湿原の保全・再生活動、集い・憩い、学習・教育の場づくり など

活動の経緯

- 平成14年 会の設立。湿原の保全・再生活動開始
- 平成25年 NPO法人移行
- 平成27年 ビジターセンター完成、一般開放開始、管理業務受託

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

北海道登別市若山町2丁目21番地

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 キウシト湿原・登別 (0143-84-8470 ビジターセンター内)
閉園期間 (11月中旬～4月中旬) 連絡先 (0143-85-4115 登別市役所土木・公園G)

対象となる社会資本

キウシト湿原 ※管理者: 登別市



桜ライン311

-未来へのまちづくり-

1 社会資本の概要

2011年3月11日に発生した東日本大震災。最大浸水高17.6mの大津波により岩手県陸前高田市は壊滅的な被害を受けました。陸前高田市では、東日本大震災後「海と緑と太陽との共生・海浜新都市」の創造を復興の目指すまちの姿として掲げ、震災復興計画を策定・実施しています。

防潮堤等の海岸保全施設整備はもとより、避難路の整備、コンパクトな市街地の形成、市街地のかさ上げ、避難情報の速達性の確保、防災啓発など、ハード、ソフトの施策を駆使し、子どもたちから高齢者まで、誰もが安全と安心を実感できる多重防災型のまちづくりを基本としています。



高田松原海岸 防潮堤工事



復興工事現場と隣り合わせの桜の植樹場所

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

東日本大震災以降の地質調査により、約1,100年前にも同規模の津波がこの地域を襲っていたことがわかりました。このことが震災以前に住民の中に「生きた知識」として残っていたら、ここまでの人的被害を出さずに済んだかもしれません。陸前高田市では防潮堤等の社会資本整備が進められていますが、その効果を高めるためにソフト対策を適切に組み合わせたまちづくりを展開する必要があります。

桜ライン311では、市内約170kmに渡る津波到達ラインに10mおきに桜を植樹し、ラインに沿った桜並木を作ることで、後世の人々に津波の恐れがあるときはその並木より上に避難するよう伝承していく活動をしています。また、そのほかにも、津波のこわさ、備えの重要性を子孫の世代まで風化させないための普及・啓発事業として全国各地での講演活動を行っています。



参加者による植樹作業



次世代を担う地元小学生との植樹会を実施



岩手県 陸前高田市

認定特定非営利活動法人 桜ライン311 / 陸前高田市

3 活動の成果や波及効果等

2011年11月6日の第一回植樹会より、陸前高田市内228箇所、1,088本(2016年12月8日時点)の桜の植樹を行ってきました。小さな歩みの中でも継続的に活動を行っており、年々参加者も増加しております。植樹した桜については、全国のボランティア、地元の造園業者等と協力しながら管理を行っています。

美しくも儚い日本人にとって最も愛される樹「桜」が、毎年花を咲かせることで、地域に愛され、より長く震災被害が人々の記憶に、街の記憶に残っていくことを期待しております。



100名を超える植樹会の参加者



最初の植樹地である浄土寺の桜開花状況

喜びの声



受賞者

認定特定非営利活動法人桜ライン311
代表理事 岡本 翔馬

コメント

この度は栄えある「手づくり郷土賞」の受賞に心から感謝申し上げます。
東日本大震災の記憶の伝承を目的に設立した団体の活動が、こうして多くの方に参加し支えていただいていることを何より誇りに思っています。
引き続きしっかりと継続してまいります。

活動内容

桜の植樹活動(年2回春と秋に実施)普及・啓発活動として講演活動など

活動の経緯

平成23年 任意団体として発足
第一回植樹会を実施
平成24年 特定非営利活動法人に認証
平成27年 次世代を担う小学生を対象とした植樹会の開催

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

岩手県陸前高田市

活動主体及び連絡先

認定特定非営利活動法人 桜ライン311 (0192-47-3399 代表理事 岡本 翔馬)

対象となる社会資本

陸前高田市震災復興計画の中で整備を進めている社会資本全般

※管理者: 岩手県陸前高田市



新庄市エコロジーガーデン -先人が築いた歴史を次の世代へ-

1 社会資本の概要

国道13号につながる市道（北辰小前線）がエコロジーガーデンを横断し、北側の並木と南側に広がる緑地とともに良好な景観を創出しています。また、エコロジーガーデンは、昭和初期の歴史的建造物群と周辺の桜や桑、ケヤキなど多くの木々が風合い豊かな景観を形成しており、これらの周辺に広がる空間が、地域に賑わいを創出しています。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

新庄市は地域全体として、若者の人口流出や地域活力の低下、地域資源の認識不足などの課題があり、また、「新庄市エコロジーガーデン」では、文化財としての保存・活用方法、市民・団体等との協働の推進、施設の希少性や価値観の向上等の課題がありました。

そこで、交流人口拡大や地域の農業・商業振興を目的に、当該施設の利用団体や関係団体、若者の農業生産者グループ、NPOなどの複数団体の代表者により「新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会」を設立しました。主な事業として地元の農産物や加工品、手づくりの雑貨や工芸品、地域の食材を使用した飲食店などが出店する手づくり市「キトキトマルシェ」を開催のほか、歴史的建造物と緑豊かな環境の中でアートに触れることができる環境芸術祭も開催しています。また、平成27年8月には、活用されていなかった建物の一部を市民の手づくりでリノベーションし、念願であったコミュニティカフェ「アオムシ」をオープンしました。



ボランティアによる花壇整備



キトキトマルシェ入口付近の様子



シンボルのケヤキの下に店舗が並ぶ



コミュニティカフェのオープン 地域食材を使ったメニューを提供



山形県 新庄市

新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会／新庄市

3 活動の成果や波及効果等

実行委員のメンバーの発案から、地域ならではの特色ある「食」「農」「暮らし」「手仕事」などにこだわり、様々な事業を行ってきました。来場者数は、平成24年度の3,000人から平成27年度には10,000人を超えるほどになり、多くの市民ボランティアに参加いただいております。また、若者にボランティアとして参加してもらうことで地元の良さの再発見やコミュニティの形成、地域の農業振興、地域活性化に寄与しています。



ボランティアスタッフである若者たち



農産物の加工品や手づくりの工芸品の販売

喜びの声



受賞者

新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会
実行委員長 樋口 修 (写真:右端)

コメント

この度は手づくり郷土賞ありがとうございました。先人が守ってきてくれた宝物を次世代に繋ぐこと、伝統や楽しさ大切さを含め古い物を受け継ぐということは未来を創ることと思います。誰でも笑顔になれ、誇れる場所になるようにという思いを再確認させていただきました。数年後大賞部門へステップアップできるようにがんばります。ありがとうございました。

活動内容

地元の農産物や手づくりの雑貨などが出店する「キトキトマルシェ」の開催、コミュニティカフェの運営等

活動の経緯

平成24年 実行委員会設立
平成24年 キトキトマルシェ開催
平成27年 コミュニティカフェ

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

山形県新庄市

活動主体及び連絡先

新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト 実行委員会
(0233-22-2111 事務局:新庄市商工観光課 加藤 明)

対象となる社会資本

新庄市エコロジーガーデン「原蚕の杜」、市道 ※管理者:山形県新庄市



「鹿嶋神の道」づくり

1 社会資本の概要

「鹿嶋神の道」は、市民がつくる本格的なウォーキングコースであり、鹿嶋市のもつ魅力を最大限に生かして巡り歩くコースです。

鹿嶋市のもつ魅力とは、鹿嶋神宮を中心に多くの歴史ある神社仏閣が点在、古来より人々をひきつけてきた「神のまち」や、古代から現在に至るまで、数多くの貴重な史跡・文化財がある「豊富な文化財」と、西に北浦、東に鹿島灘に挟まれた鹿島台地が、豊かな植生と景観を生み出している「恵まれた地勢」及び、首都圏（約90km）に近く、成田空港（約40km）にも近いという、国内外からの「好アクセス」です。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

鹿嶋市に到来した高齢化の波により、まちの商店街は急速に活力を失っていきました。まちに活気を取り戻し、誰もが住みたいと思う魅力あるまちを目指すため、まず市民の有志が、空き店舗を活用した手作り品販売のチャレンジショップ「鹿嶋人ギャラリー」を開きました。次に「鹿嶋人ギャラリー」への集客を図り、かつ市民が“わがまち鹿嶋”の魅力を再認識し、愛着と誇りに思う意識変革につながる事業として、市内の歴史的な文化財や豊かな自然を楽しみながら巡るウォーキング事業（鹿嶋再発見まち歩きツアー）を立ち上げました。そして「鹿嶋神の道」づくりへと発展させました。

「鹿嶋神の道」では、地区住民参加によるコース設定・整備や、イベント時にもボランティアによるおもてなし（お茶、豚汁、焼き芋サービスなど）を実施しています。

また、ルート上の見どころポイントには、歴史的な文化財、自然景観の説明が記載された鳥居型の案内板や破魔矢型の道しるべが設置されており、外国人来訪に備え、案内板は日英中韓の4カ国語、道しるべは日英の2カ国語で表記しています。



鹿嶋神宮前の商店街にオープンした手作り品のチャレンジショップ「鹿嶋人ギャラリー」



「鹿嶋神の道」オープン当日は、市内外から約350名がウォーキングに訪れた



鳥居型の日英中韓4カ国語の案内板（左）と日英2カ国語の破魔矢の道しるべ（右）



イベント時は地区住民のボランティアによる豚汁やスープなどでおもてなし



茨城県 鹿嶋市

鹿嶋神の道運営委員会 / 鹿嶋市

3 活動の成果や波及効果等

鹿嶋神の道ルート1のオープンから約3年、市内外から1万人ほどのウォーカーが訪れ、「鹿嶋の歴史と伝統」「豊かな自然」を高く評価する声や、アンケート調査では「鹿嶋の奥の深さに驚き」「鹿嶋に生まれ育ちながら再発見に感謝」「コース整備が素晴らしい」などの意見が寄せられました。これらの声は地区住民に“わがまち鹿嶋”の価値を再認識させることになり、郷土愛を高めています。

鹿嶋人ギャラリーの出店から8年目、まち歩きツアーなどで商店街に活力が蘇りつつあり、神宮参道の空き店舗が5店再開しました。

また、若手店主らの結束を高め、「鹿島神宮」「鹿島アントラーズ」「鹿嶋神の道」がコラボして、市外からの来訪者へのおもてなし、特産品開発などを行い、商店街活性化への大きな刺激となっています。



鹿嶋産のモチ米、古代米を使用した揚げおかき(左)や無農薬米を使用した純米原酒(中)などのグッズには「鹿嶋神の道」のロゴマーク(右)を使用し、「鹿嶋神の道」のブランド化を図っています

喜びの声



受賞者

鹿嶋神の道運営委員会 代表 西岡 邦彦

コメント

鹿嶋市の埋もれた宝(文化財、自然)に日が当たった賞と喜んでます。この賞をキッカゲに市民にはわがまちの宝に自信と誇りをもって慈んでもらい、首都圏や海外からのウォーカーにも歩いてもらえるように努力してまいります。

活動内容

コースの整備・拡充
ガイド案内、広報活動、特産品づくりなど

活動の経緯

- 平成22年 「鹿嶋再発見まち歩きツアー」開始
- 平成23年 「鹿嶋神の道運営委員会」設立
- 平成24年 「鹿嶋神の道ルート1」オープン
- 平成25年 「新・日本歩く道紀行100選：文化の道」認定
- 平成28年 「鹿嶋神の道ルート2」オープン
- 平成29年5月21日 「鹿嶋神の道ルート3」オープン

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

茨城県鹿嶋市中部地域

活動主体及び連絡先

鹿嶋神の道運営委員会 (0299-77-8878)
HP: <http://www.god-road.com/>

対象となる社会資本

鹿嶋神の道 ※管理者: 鹿嶋市



不法投棄されていた土地を地元の手で 憩いの場に！夢のひろばづくり

1 社会資本の概要

この土地は、約20,000㎡の広い土地であり、以前は、市の建設残土置き場として利用されていましたが、不法投棄が絶えず、管理が難しい土地でした。現在は、地域の住民が主体となり『夢のひろば須田』として活用し、花植えなどを通じた地域のコミュニケーションづくりの場として利用されています。ひろばのうち2,000㎡が花壇となっており、その他の部分はさまざまな樹木が植えられています。また、須田小学校に近く、教育の場としても活用されています。



ひろばの整備前と整備後を同じ場所から撮影したもの

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

地域周辺はゴミの不法投棄が頻発しており、問題となっていました。『夢のひろば須田』も以前は不法投棄が行われていた土地であり、近隣住民からも改善要望がありました。そこで、地域住民と市が協力し合って、管理していくひろばとして整備を行いました。

花と緑の会の活動は毎日行われており、主な活動はひろばの草刈りや樹木の手入れ、花壇の花植えなどで、『1年を通して花が見られるひろば』を目標に、色々な花や樹木が植えられています。樹木も購入するだけでなく、自宅で不要になった木を寄付するなど、独自の工夫も行っています。

また、草刈りの一環として、平成26年度から飼育を始めたヤギ2頭が、マスコットキャラクターとなり、ひろばの知名度向上や活気に繋がっています。

ひろばは、小学校の向かいに位置しており、子供たちの自然観察などの校外学習の場としても活用されています。また、地域の人々の遊び場や散歩コースになっており、憩いの場としても親しまれています。



花植えの様子。ボランティアだけでなく、子供たちもお手伝いをして花を植えています



夏には、植栽したひまわりが一面に咲き誇りました



茨城県 神栖市
花と緑の会／神栖市



喜びの声

3 活動の成果や波及効果等

毎年2,3回、ひろば全体の草刈りなど大規模な整備を行う時は、地域の行政区もボランティアとして参加しており、30名程度で活動しています。

地元の子供たちやPTAもボランティア活動を行っており、授業の合間や運動会などの行事の前に草刈りをするなど、ひろばを身近に感じてもらっています。

その結果、住民たちを悩ませていた不法投棄も解消され、近隣住民からは「景観がきれいになった」「こんなに広くて綺麗な土地があるとは思わなかった。今度はヤギを見せに子供と来たい。」などといった声が寄せられています。



須田小学校の子供たちとヤギの触れ合いの様子。興味津々でヤギを触る子供たち



ひろばの中にある丘の上から眺めた風景(左)と、ひろばのシンボルにもなっている大きなタブの木(右)



受賞者

花と緑の会 会長 田中 三郎

コメント

このような賞をいただきありがとうございます。我々の活動が評価していただけたと大変感謝しております。今回の受賞を一つの好機として、5年後、10年後と、これからも更なる発展を目指したいと考えています。期待してください。

活動内容

夢のひろばづくり(除草、花植え、樹木の植樹・管理、ヤギの飼育、ひろばでのイベント開催等)

活動の経緯

平成19年 夢のひろば須田整備, 造成開始
平成20年 会の発足
平成20年 花壇部分の花植えを開始
平成22年 ひろばの造成完了
平成25年 造成地全体の管理を花と緑の会で開始
平成26年 ヤギの飼育をはじめ
随時、花植え、樹木の植栽・管理、地域での草刈りをしております

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地
茨城県神栖市須田

活動主体及び連絡先
花と緑の会 (0299-90-1008 (神栖市役所 農林課))
Twitter @yagi_suda Instagram yagisuda

対象となる社会資本
夢のひろば須田 ※管理者: 神栖市



足利の魅力再発見！ ～高校生のロケツアーリズム～

1 社会資本の概要

足利市は、日本最古の学校といわれる日本遺産「史跡足利学校」のほか、足利氏ゆかりの国宝「鑱阿寺（ばんなじ）」など、歴史と文化の香りに満ちた素晴らしいまちです。さらに、あしかがフラワーパークなどの良質な観光資源を最大限に生かし、近年観光客が確実に増加しています。

また、足利市では、「映像のまち構想」を掲げ、積極的な撮影誘致を行うとともに、市内で撮影された映画等の上映を行う「映像まつり」など「映像」をキーワードとしたまちづくりを展開しています。北仲通りや足利公園等、数多くの撮影が市内で行われており、特に、廃校となった旧足利西高等学校校舎が撮影場所としての需要が高く、映像によるまちづくりの成果が地域活性化の一環として表れております。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「映像のまち構想」を掲げた足利市では、市内のいたる所で撮影が行われています。この「映像」をキーワードに観光プランを掲げることで、足利市の観光価値をさらに高めることができるのではないかと考えました。そこで、高校生ならではの発想で、ロケ地と観光名所や特産物を掲載した観光ガイドマップを平成25年4月に作成しました。

平成27年には、「足利に恋をしてもらいたい」という思いで、「あし恋MAP」を新たに作成し、さらに、広報活動を通して足利市の魅力を広め、新たな観光客とリピーターを呼び込めるような、「ロケ地めぐりツアー」を企画しました。

新たな取組みとして、高校生自身が観光ガイドにも挑戦しており、ロケ地めぐりツアーでは、映画「ちはやふる」の一場面をツアー参加者に体験していただくため、「競技かるた大会」の開催を企画したり、「あし恋MAP」掲載の地元カフェで、映画「バンクローバーの朝日」にちなんだランチを食べながら、お店の方から撮影の裏話を聞き楽しんでいただきました。



映画「ちはやふる」のロケ地で、映画と同じ、競技かるた大会を行いました



ツアーのランチ風景です



高校生自身が観光ガイドにも挑戦しました



地場産業、足利銘仙を地元のお店で着付けてもらい、ガイドをしました。



栃木県 足利市

栃木県立足利清風高等学校 / 足利市

3 活動の成果や波及効果等

「あし恋MAP」が各種メディアに取り上げられたことにより、足利市を広くPRすることができました。また、高校生の視点で作成したことで若者に受け入れられやすい内容となり、新たな年齢層へのPR効果が期待できます。

作成にあたっては、市内高校生600名へのアンケート、地元企業や商店、カフェへの取材など、地域と協力して取り組んでいます。

作成後は、あし恋マップを持って地元商店やカフェに来店するお客様が増えているようです。

さらに、マップに基づいたロケ地めぐりツアーを実施したことで、「ロケ地」という新たなツールによる観光客の掘り起こしを行うことができました。



完成した「あし恋MAP」

喜びの声



受賞者

栃木県立足利清風高等学校 ビジネス研究部

コメント

足利市を活性化するために、高校生である私たちに何ができるのかを考え、研究活動を行ってきました。今後も足利市の魅力を発信し、多くの人に伝えられるように頑張っていきます。ご協力いただいた皆様に感謝を表します。

活動内容

あし恋MAPの作成
ロケ地巡りツアーの企画・実施

活動の経緯

- 平成25年 てくてくマップ
ちゃりちゃりマップ
- 平成26年 ぽんぽんマップの作成
スタンプラリー実施
市民力創出協働事業締結
- 平成27～28年
あし恋MAPの作成
ロケ地巡りツアー

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

栃木県足利市

活動主体及び連絡先

栃木県立足利清風高等学校 (0284-62-2011)
HP: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagaseifu/nc2/>

対象となる社会資本

北仲通り、足利公園 ※管理者: 足利市



日本の近代化を支えた足尾の 産業遺産等を活用した地域おこし

1 社会資本の概要

東洋一の産銅鉱山として発展してきた足尾銅山は、日本の近代化産業発展と共に成長してきました。

往時の足尾銅山が残した遺産の中でも大正元年(1912)に開通した足尾鉄道(桐生～足尾間・現わたらせ渓谷鐵道)は精錬した銅を運ぶための重要交通で過去には国有化された時期もあり、日本の経済発展に大きく貢献しました。

このような歴史がある足尾において、足尾駅の木造駅舎やプラットフォームは国の登録有形文化財に登録されています。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

足尾歴史館は、平成17年に開館し、足尾地域内に残る歴史的資源並びに伝統文化の調査記録・保存活用等に関する事業を行っています。

平成19年4月には、大正元年に建てられた国の登録有形文化財である足尾駅の木造駅舎を主役に、足尾銅山への貨物を運ぶためのディーゼル機関車を走れるよう修理し、デモ走行した「足尾駅祭」を初めて開催し、約3000人の参加者を集めました。

その後も、大正15年から昭和28年まで足尾の町中を走行し、銅山の資材や生活物資輸送及び足尾町民の足となっていた通称ガソリンカーを手づくりで復元し、現在も毎年4月から11月までの毎月第一土・日曜日に体験運転を足尾歴史館で開催し、鉄道ファンの人気を集め地域おこしに尽くしています。

また、毎年冬季に行われる、わたらせ渓谷鐵道主催の『わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション』の中で、足尾駅の飾り付けを毎年手づくりで実施しています。



H19.4.28「足尾駅祭」開催状況多くの方が沿道に駆けつけました



多くの方が復活したガソリンカーを堪能した「ガソリンカー祭」
現在も毎月、第一の土曜日・日曜日に試乗会を開催しています



足尾歴史館内で地元日光市や県外から来た学生に対し、
総合学習の授業として説明する長井理事長



足尾駅でのイルミネーション飾り付けは足尾歴史館で毎年実施しています



栃木県 日光市

特定非営利活動法人 足尾歴史館

喜びの声

3 活動の成果や波及効果等

104年の歴史を持つ、わたらせ渓谷鐵道と連携して開催した「足尾駅祭」などの鉄道イベントでは、参加規模は足尾町の人口約2,000人に対して、日本全国から3,000人規模の集客があるなど、地元全体が恩恵を受け、鉄道利用者が増加し地域おこしに尽くしています。

また、住民は行政への依存度が非常に高かったのですが、イベントに参加することで、その意識も少しずつ変化し、イベントスタッフ等に地元住民が多く参加するようになりました。

さらには、足尾から他地域への移住者がこの活動を知って、参加するようになってきています。



館内では、足尾に関する歴史資料や模型、パネルを展示



手づくりで復元したガソリンカー(左)と立山砂防事務所のトロッコ(右)



受賞者

NPO法人 足尾歴史館
理事長 長井 一雄

コメント

12年間活動し、評価していただいた事、感謝しています。足尾は深刻な過疎化が進む中、私たちの活動が地域おこしに少しでも寄与出来れば、とても嬉しいことです。受賞をスタートに今後も活動を続けて参ります。

活動内容

足尾歴史館運営、保存車両の一般公開、足尾駅イルミネーション、産業遺産ガイド、足尾銅山の世界遺産登録推進 など

活動の経緯

平成17年 足尾歴史館の開館
平成18年 世界遺産登録を考える会発足
平成19年 足尾駅祭開催
平成21年 ガソリンカーを復元し一般公開しています。また、足尾駅にて年3回、保存車両等も一般公開しています。

手づくり郷土賞について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

栃木県日光市足尾町掛水

活動主体及び連絡先

NPO法人足尾歴史館(12月~3月:冬期閉館)(0288-93-0189)
HP:<http://ashiorekishikan.com/>

対象となる社会資本

わたらせ渓谷鐵道 足尾駅 ※管理者:わたらせ渓谷鐵道(株)



人もコウノトリも棲めるふるさと鴻巣づくり ～つたえよう豊かな自然環境を 未来の子どもたちへ!～

1 社会資本の概要

荒川は、秩父山地に源を発し、埼玉県を南北に流れる埼玉の顔ともいべき河川であり、最後は東京都の人口集中地区を流下して東京湾にそそいでいます。

当会の活動フィールドである鴻巣市域は、荒川の中流域にあたり、広大な河川敷は川幅日本一として、鴻巣市の観光の目玉の一つとなっており、川幅グルメシリーズ（うどん、蕎麦等）などの製品の他、花火大会（4尺玉は、ギネス記録に認定）も行われ市民に広く親しまれています。

また、沿川の市街化が進むなかで、豊かな自然を有する貴重な空間となっているほか、サイクリングやジョギング、散歩の空間として地域内外の住民に広く利用されています。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

コウノトリは、かつて日本各地で見られましたが、湿地の減少や農薬の影響等、生息環境の悪化により野生絶滅してしまい、近年は飼育個体の放鳥による野生復帰の取組が進められています。

鴻巣市にとって、コウノトリは市名の由来の一つと言われ、市民にとってもなじみ深いものとなっており、会では、コウノトリを取組のシンボルとして掲げ、湿地環境の保全再生や地域振興に取組み、人にも生きものにもやさしい持続可能な地域づくりを目指し取組を進めています。

会は、平成19年より活動をはじめており、主な活動として、荒川の河川敷にコウノトリの生育環境を作る「湿地ビオトープの整備」や、地域の農家や団体と連携して“ふゆみず田んぼ”“なつみず田んぼ”“魚道設置”や“無農薬・有機栽培”に取り組む「モデル水田プロジェクト」、湿地ビオトープやモデル水田における子供たちや保護者を対象とした「いきもの観察会」や外来種駆除を兼ねた「自然体験」などのイベントを行っています。このような活動を続けることで未来の子供たちへ自然環境を引継ぐことができると考えています。



外来種駆除を兼ねた
湿地ビオトープでのザリガニ釣りイベント



モデル水田では、田植え、生きもの観察会、
収穫祭等のイベントを開催



田んぼと水路を繋ぐ魚道を設置することで、
田んぼに魚が上ってこれる



維持管理活動（セイタカアワダチソウの駆除）



埼玉県 鴻巣市

特定非営利活動法人 鴻巣こうのとりを育む会



3 活動の成果や波及効果等

いきもの観察会などのイベントには多くの方が参加しており、子供たちに自然体験の機会を提供するだけでなく、保護者も含め環境への理解が深まっています。

また、活動の広報として鴻巣市のFM局「フラワーラジオ」の番組に月に1回（毎月第2金曜日午後1時～）、ゲストとして会員が参加、情報発信を継続実施しており、最近では、市内外からの協力者や応援者が増えてきています。

平成27年3月に鴻巣市が作成した「コウノトリの里づくり基本計画」では、当会が署名を集め発信し続けてきた「コウノトリの飼育・放鳥」が盛り込まれました。また、計画の記述の中で当会の取組みが取り上げられました。



湿地整備で確認されるようになった希少種
ミクリ（左）、タコノアシ（中）、イチョウウキゴケ（右）



湿地整備で増えた生きもの
トウキョウダルマガエル（左）、アマガエル（右）

喜びの声



受賞者

NPO法人鴻巣こうのとりを育む会
代表理事 伊藤 鏗義

コメント

ご支援ご協力頂いた方々、イベントに来てくれた子ども達、皆で頂いた賞です。湿地ビオトープの再生、生きものの賑わいの帰ってきた水辺……。これからも皆の笑顔を源に活動し、コウノトリが飛翔する鴻巣を目指します！

活動内容

- 湿地ビオトープの整備（再生）・維持管理、イベント実施
- 周知・PR、普及啓発、無農薬・有機栽培による米づくり等

活動の経緯

- 平成19年 任意団体として発足
- 平成21年 コウノトリ飼育放鳥の署名活動
- 平成22年 「コウノトリ講演会」を主催
- 平成23年 湿地ビオトープ第1号整備
- 平成24年 NPO法人取得
- 平成25年 コウノトリ育む田んぼオーナー制度開始
- 平成26年 湿地ビオトープ第2号整備
- 平成28年 「コウノトリを支える市民の会」に参加

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

- ① 鴻巣市滝馬室地先 / ② 鴻巣市原馬室地先

活動主体及び連絡先

NPO法人鴻巣こうのとりを育む会 (090-4370-7424)

対象となる社会資本

荒川河川敷 ①コウノトリ郷公園ビオトープ / ②原馬室湿地
※管理者：国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所



地域でつくるエキコンの賑わいと キレイなまち鴨居

1 社会資本の概要

鴨居駅はJR東日本が運営する横浜線の駅で、1日に約3万8千人が利用しています。地域住民の要望により開設された請願駅で、周辺には学校、商業施設、工場などが立地しており、駅の北側には鶴見川を横断するための人道橋が架けられ、駅からの移動が容易になっています。

このように鴨居駅は、日常生活から仕事まで様々な点において地域住民の拠点となっています。

平成25年12月25日は駅開業50周年記念日であり地元「5連合自治会」が中心となり、平成25年4月～12月までの間、諸行事を開催しました。地域住民にとっては愛着のある駅となっています。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

鴨居駅周辺(駅の自由通路及び南北階段)はゴミが散乱しガムが床に付着している状態であった為、鴨居の玄関「鴨居駅」を綺麗にしようと、清掃活動を始めました。平成15年から、毎週日曜日に清掃をしており、通算で700回以上行っています。また、平成17年からは、近くにある「鴨池大橋」の清掃活動も始めており、地元の鴨居小学校と連携し、小学生が製作した壁画を設置することで「落書きやゴミ捨て」が減少しました。壁画設置後も毎年3月に鴨居小学校の6年生が卒業記念として清掃活動に参加しています。

さらに、文化情報の発信基地として、清掃を行っている鴨居駅通路を活用し、年に3回「鴨居エキコン」(ミニコンサート)を開催しています。これまでに約40回開催し、毎回約350名の参加者で盛り上がっています。

清掃やエキコンの開催は、地元企業や自治会等とも協力して行っており、地域が一体となった活動となっています。



鴨居駅南階段付近の清掃活動
常に鴨居駅利用者に配慮しながらの作業



雪の日の除雪作業は大変
雪の日は定例活動の日曜以外に臨時に対応



鴨居小学校6年生による壁画の設置
平成23年から3年間で合計6枚を設置しました



毎年3月には、鴨居小学校6年生全員が清掃活動を実施



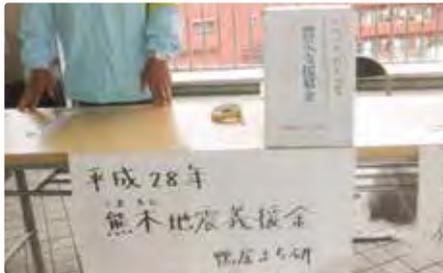
神奈川県 横浜市 鴨居駅周辺まちづくり研究会

3 活動の成果や波及効果等

10年以上も継続した清掃活動により、清掃をしていると、通行人から「有難う」「ご苦労様」「お早うございます」の声が多くなり会員の励みになっています。また、自主的にゴミ拾いをする人が見られるようになり、活動に広がりを見せています。

エキコンでは、開演の20分前には満席になるほど盛況で、演奏団体も選考するほど申し込みが多くなっている状況です。

今後の活動として、清掃においては駅近隣の商店等に呼びかけることで更なる「キレイなまち鴨居」を目指し、エキコンでは、地域の演奏者とのコラボにより更なる「賑わい」を作りだしていきます。



熊本地震の直後の「鴨居エキコン」で急遽会場に募金箱を設置し、義捐金を募りました



鴨居駅通路で開催される「鴨居エキコン」JR、行政、地元企業などの協力により開催される地域一体となったイベントです

喜びの声



受賞者

鴨居駅周辺まちづくり研究会
事務局長 藤村 勝典

コメント

地味で小さな活動ですが、自治会、商店会、JR鴨居駅、行政等との協働活動が評価された受賞と考えています。これは会員の大きな喜びと誇りであります。今後も、仲間と楽しみながら活動を継続し、地域の元気づくりを目指します。

活動内容

清掃活動、鴨居エキコン開催、各種公開講座の開催、子ども達にオモチャ作り指導 など

活動の経緯

- 平成11年 会の発足
- 平成12年 鴨居駅周辺魅力マップ作成
- 平成15年 鴨居駅通路の清掃開始
鴨居エキコン開始
- 平成17年 鴨池大橋の清掃開始
- 平成18年 歴史標識・ガイド杭設置
- 平成19年 鴨居連合自治会協力団体

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

横浜市緑区鴨居一丁目

活動主体及び連絡先

鴨居駅周辺まちづくり研究会 (090-4416-0454)
HP: <http://www.1a.biglobe.ne.jp/kamoirengo/machiken/>

対象となる社会資本

JR横浜線 鴨居駅 ※管理者: 東日本旅客鉄道株式会社



羽越水害の教訓を伝える 「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」

1 社会資本の概要

新潟県関川村を流れる荒川は、山形県の大朝日岳に発し山間部を東西に流れ越後平野の北側を横断して日本海に注ぐ、幹川流路延長73km、流域面積1,150km²の一級河川です。豊富な水量と急峻な地形を背景に、かんがい用水や水力発電に利用され、地域の経済を支える重要な河川であるとともに、「清流荒川」として地域に愛されています。

しかし、一方で「暴れ川荒川」とも呼ばれ、治水に関する戦いの歴史を持ち、昭和42年8月28日に発生した羽越水害では、多くの犠牲者と甚大な被害が発生しました。（死者行方不明者90人、浸水面積5,875ha、被災家屋11,095戸）



昭和42年（1967年）に発生した羽越水害



一級河川荒川。羽越水害を契機に抜本的な河川整備が行われた。



大石ダム



横川ダム

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

人口約5,800人の関川村では、高齢化や過疎化により田舎が持つ連帯感が薄れつつあるという課題がありました。昭和63年に人材育成のために村が開いた「せきかわふるさと塾」の発案が、村民一体となって楽しめるまつりの創設につながりました。

村に残る「大蛇伝説」と「羽越水害」をテーマとし、竹とわらを材料に作った長さ82.8m、重さ2トンの大蛇パレードがまつりの主役です。500人もの人々が交代しながら大蛇をかつぎ村内を練り歩きます。大蛇は胴体を全集落の数54に分けて全集落が協力して制作し、村民の一体感が盛り上がります。わらを編むロープによるウロコの表現は塾生の豊職人のアイデアで、村特産のわら細工がヒントとなりました。また、民間の支援団体「グループおりの」や全国の学生ボランティア、村外から大勢の参加者がまつりを支えています。



大蛇伝説「大里峠」の紙芝居上演。
伝説は過去の大水害が関係すると言われている。



村の竹とわらを使って、全54集落で分担して大蛇を制作。



新潟県 岩船郡関川村

えちごせきかわ大したもん蛇まつり実行委員会



3 活動の成果や波及効果等

まつりを通じて始まった国際ボランティア学生協会IVUSAとの交流は13年続いており、現在はまつりのサポートだけでなく、地域活動全般で交流が生まれています。また、他地域のイベントからも声がかかり、パレードに参加していくうちに交流の輪も広がりました。

全国に知られるまつりに成長したことで、「小さな村でもやればできる」という自信が生まれました。平成29年には羽越水害から50年、まつり創設から30年の節目を迎えますが、村を誇りに思う村民の心の後押しにより、ここまで継続することができています。



大迫力の大蛇パレード。
「竹とわらで作られた世界一長い蛇」は2001年ギネス認定。



国際ボランティア学生協会との交流は
村出身学生の企画で始まった。

喜びの声



受賞者

えちごせきかわ大したもん蛇まつり
大会会長（関川村長） 平田 大六

コメント

この「まつり」は、30年前、村の若者たちによって、「村民総参加」と「継続」を合言葉に、創造されたものです。これを、さらに後世へしっかりと伝えてゆくために、この受賞は大きな「花」となりました。

活動内容

まつりの企画・運営 など

活動の経緯

- 昭和63年 第1回まつり開催
以後、毎年まつりを開催
- 平成13年 大蛇のギネス認定
- 平成16年 ふるさとイベント大賞
祭・イベント部門賞受賞

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

新潟県岩船郡関川村

活動主体及び連絡先

えちごせきかわ大したもん蛇まつり実行委員会
(0254-64-1476 事務局：関川村役場総務課)

対象となる社会資本

一級河川荒川、大石ダム、横川ダム
※管理者 北陸地方整備局 羽越河川国道事務所



人々の生活とつながりを育む河川 ～佐奈川を美しくする会の取り組み～

1 社会資本の概要

佐奈川は、清流櫛田川の支流であり、合流して伊勢湾に注いでいます。豊富な水量は主に農業用水などに利用されるなど、地域住民の生活と密接なかかわりを持ってきました。しかし、近年の護岸改修に伴い安全性が向上する反面、川と子供たちの関わりが希薄となり、地域でも「汚れた川」としてイメージが定着するほどゴミが散乱していました。

地域の「昔の川を取り戻したい」「憩いの場にしたい」「子供たちに関心をもって欲しい」との思いから、佐奈川を美しくする会が発足しました。活動により、小魚が少しずつ増え、豊かな自然を取り戻しつつあります。



佐奈川（三重県多気郡多気町）



菜の花による景観づくり

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

佐奈川への取組のきっかけは、一企業の環境貢献活動として平成16年からはじまりましたが、地域住民や企業、行政を巻き込み、理解者が増え徐々に活動の輪がひろがり、発展してきました。平成20年に地域住民主体による「佐奈川を美しくする会」を設立し、住民・企業・行政による強固な協力体制を確立しました。清掃活動、水生生物の保全や環境学習、菜の花による景観づくりなど幅広く活動を展開し、平成25年からは絶滅危惧種（アゼ）朴ギリ草の保全と繁殖にも取り組んでいます。

活動に参加しやすいように、ゴミ拾いと草刈りだけでなく、若者や子育て世代が楽しめるイベント（河川敷に花を咲かせる活動、魚の放流、生物観察会など）を取り入れています。さらに活動紹介を企業が作成し、行政のネットワークで情報発信しています。

その結果、地域全体がふるさとを知り、環境意識の向上と佐奈川への愛着が増えています。



住民・企業・行政による草刈りやゴミ拾い



魚の放流



生物観察会



三重県 多気郡多気町 佐奈川を美しくする会



3 活動の成果や波及効果等

佐奈川および河川敷広場、桜堤公園を主な活動フィールドとして活用することで、多くの地域住民が活動に参加し、地域の環境意識が高まり、不法投棄を含めたゴミを減らす等の効果ができています。

佐奈川で絶滅危惧種アゼオトギリ草が48年ぶりに発見されました。会員一同さらに士気が高まり、その保全と繁殖にも本格的に取り組みはじめました。これまでには交流の少なかった地域の農業団体や、久居農林高校とも交流を深め、更に福井と三重での地域を越えた新たな交流活動も始まり、多様な活動に発展しています。



絶滅危惧植物の保全（移植）



種まき（絶滅危惧種 アゼオトギリ）

喜びの声



受賞者

佐奈川を美しくする会
会長 扇田 榮夫

コメント

この度は手づくり郷土賞一般部門に選定頂きありがとうございます。これからも地域住民・行政と企業が手を組んで、ゴミ拾いと草刈りだけでなく、河川敷に花を咲かせたり、多くの魚が棲みつき夏になると子供たちが泳げる美しい川にしていきたいと考えております。

活動内容

清掃活動、魚の放流、生き物調査、
菜の花による景観づくり など

活動の経緯

平成16年 シャープ三重工場
環境貢献活動スタート
(周辺地域住民、学校、役場へと拡大)
平成19年 国土交通省との連携
平成20年 佐奈川を美しくする会設立
平成25年 絶滅危惧種の保全と繁殖

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

三重県多気郡多気町五佐奈1177-1

活動主体及び連絡先

佐奈川を美しくする会 (0598-38-8366 事務局(シャープ三重工場))

対象となる社会資本

一級河川佐奈川
※管理者：国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所



密集市街地の小さな広場を活用した 地域防災力向上に向けた挑戦。

1 社会資本の概要

大阪市には、JR大阪環状線の外周部を中心に、密集市街地が広く分布し、建物の老朽化や建て詰まりに加えて、狭隘な道路が多く、公園やオープンスペースが不足するなど、防災面や住環境面で様々な課題を抱えています。こうした課題に対し、大阪市では、災害時は一時避難場所として、日頃は地域防災活動の場やコミュニティをはぐくむ場として、地域住民と連携・協働しながら「まちかど広場」の整備を行っています。

大阪市生野区にある「まちかど広場（ももに広場）」は、民間企業から「創業の地を無償で提供し、地域に貢献したい」という貴重な申し出を頂き、大阪市が国の社会資本整備総合交付金を活用して整備した約200㎡の小さな広場です。



無償で提供いただいた広場用地



整備後の「ももに広場」



2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

当地区は、高齢化等による地域コミュニティ活動の担い手や参加者の不足、世代を超えた住民同士が交流できる場の減少等の課題により、地域コミュニティが希薄化しつつありました。

そのため、ももに広場の整備にあたっては、地域住民参加のワークショップ方式による広場の基本計画づくりからスタートしました。その結果、大規模地震等の発生を想定し、雨天時でも応急活動が実施できるようフェンスにシートを設置できる工夫や、炊き出しができる「かまどベンチ」の設置など、地域住民のアイデアが反映された広場が整備されました。災害発生時に一時的な避難場所としてスムーズに対応できるよう、広場で開催する様々なイベント時にも、シートやかまどベンチを積極的に活用しています。



普段はベンチ



炊き出し等ができる「かまどベンチ」
普段のイベントでも積極的に活用



フェンスにシートが設置できる工夫
イベント時は日除けとしても活用



大阪府 大阪市

ももに広場管理運営会 / 大阪市

3 活動の成果や波及効果等

ももに広場を舞台に、独自のアイデアで様々なイベントを企画・実施しています。毎月開催の「青空カフェ」は、地域住民の憩い・交流・新しい活動のアイデア創出の場となっており、生野区発祥のスポーツ「スリーアイズ」をアレンジして創出されたゲーム「おじゃぼん」も広場で誕生しました。また、近隣の老朽家屋跡地には「ももに農園」を自主整備し、四季折々の野菜をみんなで栽培・収穫し、青空カフェでいただきます。春の恒例イベント「広場誕生祭」や秋の「敬老祭」では、手づくりの花束を渡すなど、地域ぐるみで入学と長寿をお祝いします。

年末の「光の祭」では、その年に地域で亡くなられた方々を偲び、悲しみを分かち合うことで、地域の結びつきを深めるなど、多様な世代間の交流を促しています。こうした様々な取組が「共助力」を育み、地域防災力の向上に繋がっています。



広場で生まれた「おじゃぼん」



長寿を祝う秋の「敬老祭」



みんなで祝う春の「広場誕生祭」



故人を偲ぶ冬の「光の祭」

喜びの声



受賞者

ももに広場管理運営会 会長 岸村 修

コメント

苦労の時代を地域と共に生きた寄贈者の「創業の地を、地域に提供したい」という志は「人は助け合って生きるもの」とのメッセージでもあり、ももに広場の合言葉「みんなの広場、あしたの広場」は生まれました。一人ひとりが日々の小さな喜びを見つけ、その喜びを持ち寄り、繋ぎあうことで、この街を、暮らしを、そして明日を変える大きな力に育てたいと思っています。

活動内容

- ・広場の維持管理（清掃・除草等）
- ・地域防災力向上に繋がるイベントの企画・運営 など

活動の経緯

- 平成23年10月 土地の無償提供の受諾式
- 平成23年11月～ ワークショップによる広場の基本計画づくり
- 平成25年2月 ももに広場の完成
- 平成25年3月～ 「ももに広場管理運営会」による管理運営開始

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

大阪府大阪市生野区勝山北2丁目

活動主体及び連絡先

ももに広場管理運営会

対象となる社会資本

ももに広場

管理者：ももに広場管理運営会

整備者：大阪市都市整備局 (06-6208-9234)



身近な自然に気づき、川と始める 川から始まるまちづくり ～川に近づき、川を利用、川で遊び、美しい川を創る～

1 社会資本の概要

京橋川沿いの白潮公園には、広島市内で唯一、自然のままの河岸（土手）が残り、水質を浄化することで知られる貴重なアシ原と干潟が広がっています。汽水域であるその場所には多様な生物が息づき、休日には、地域の憩い・レクリエーションの場となっています。まさに、生き物と人のオアシスであり、都市と自然が融合する美しい景観が現存する貴重な場所となっています。

京橋川かわいあしがるクラブは、この場所で、地域資源の保全・地域の活性化・まちづくり・人づくりに活かす活動に取り組んでいます。



京橋川沿いの干潟



環境に良いアシ保全のための、アシ刈り

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

元々、山の森林保全活動を行う中で、子供たちに森づくりを教えていました。家から遠く離れた自然の中では伝えにくい場面もあることに気づき、上流域からではなく、私たちが暮らす下流域の街中から物事を考える機会が必要でした。そんな折、巨大葦舟を制作するプロジェクトに参加し、舟づくりの技術を学んだことを契機に、地域の草原を生かした、環境教育を実行するようになりました。私たちにできることは、郷土愛をもって、希薄になっている自然との触れ合いを復活させ、身近な自然に親しみ、環境を良い方向に変えていく行動を始めることです。活動を始めてみると、この場所が思っていた以上に多くの生物が生息する大変貴重な場であることを認識でき、それを伝え続けたことで、多くの市民団体や企業、行政、大学生などが関わってくれるようになりました。お互いの連携により、ユニークなイベント展開ができ、結果として環境づくり、まちづくり、人づくりなどの波及効果が現れるようになってきました。



活動のきっかけとなった、「アシ舟プロジェクト」



アシ舟づくりワークショップ



広島県 広島市

京橋川かわいあいあしがるクラブ / (公財) 広島市文化財団中央公民館
白鳥九軒町町内会

3 活動の成果や波及効果等

当初5人から始めた会が、活動は単体ではなく地域や他団体と共にという考えで行ってきた結果、少しずつ広がり、いまやイベントによっては300人を超える参加者が得られるほど成長しました。内容もアシ舟づくりから美化活動、おもてなしCAFE、慰霊碑周辺整備等、様々なプログラムを行ってきました。その結果、多くのNPOをはじめ、あらゆる年代の住民が参加してくれるようになり、地域財産の認識が向上しました。また、行政や学校、企業などから活動への参加希望者が増え、活動の認知度が増してきたことを実感しています。

これからもアシを活用し、地域づくり・人づくりを展開していきます。



干潟で行うとんど



学生たちによる川辺の文化祭運営

喜びの声



受賞者

京橋川かわいあいあしがるクラブ
代表 山本 恵由美

コメント

できることをやるという「ハチドリ一滴」の思いで、広島のを市民の手で守りたいと、地域と共にここまでやって参りました。この受賞によって、これまでの活動を評価いただいたことは大変嬉しく、今後のやりがいやモチベーションに繋がります。これからも環境保全を通じ、広島のまちづくりや人づくりに勤しんでいきたいと思っております。

活動内容

川辺の文化祭、アシ舟づくり・カヌー体験、アシ刈り、とんど等。

活動の経緯

平成17年 クラブ設立
平成17年 春：川辺の文化祭、
夏：アシ舟づくり・カヌー体験、
秋：アシ刈り、
冬：とんどという季節毎のイベントを確立。

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

広島県広島市

活動主体及び連絡先

京橋川かわいあいあしがるクラブ (082-221-1080 代表 山本 恵由美)

対象となる社会資本

(一級河川太田川水系) 京橋川沿い 白潮公園

※管理者：広島市



カヤックで目指す四国のまほろば -吉野川河畔ふれあい広場-

1 社会資本の概要

吉野川河畔ふれあい広場は吉野川中流北岸の徳島県美馬市にある河川敷公園であり、国土交通省が基盤整備した後、地元美馬市がパークゴルフ場、サッカー場などの公園を整備したものです。(平成10~13年に整備)

吉野川河畔ふれあい広場周辺にはオートキャンプ場「四国三郎の郷」や水辺の楽校「中鳥川公園」などが隣接して整備されていて、3施設が一体的に連携し効果的に活用できるよう配置されていますが、吉野川河畔ふれあい広場に関してはパークゴルフなど陸上部分のスポーツ利用が主であり、ふれあい広場沿いの水辺はほとんど利用されていない状況でした。



吉野川河畔ふれあい広場



パークゴルフ場

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

近年、野外で遊ばなくなった子どもたち、そしてにぎわいのないふれあい広場周辺の水辺に憂いを抱いた藤川氏の呼びかけに地元のカヤック仲間約50名が応じ、平成18年に「AMEMBO」を結成しました。

AMEMBOの活動の核はふれあい広場周辺の水辺でのカヤック体験であり、隣接するオートキャンプ場「四国三郎の郷」と提携し、宿泊者の活動メニューとしてカヤック体験を提供するなど双方の利用者増加のための工夫を行っています。

また、AMEMBOはカヤックの他、里山を体験するツリーハウスや観光農園、食育のためのピザ焼きやそうめん流し、そして日本古来の伝承行事であるどんど焼きなど地域色豊かな取り組みを多角的に展開しています。



カヤックを体験する子どもたち



ツリーハウスで里山体験



徳島県 美馬市 AMEMBO / 美馬市



3 活動の成果や波及効果等

AMEMBOの活動の核であるカヤック体験は10年継続され、今では年間約2,000名の利用があります。

また、毎年小正月に開催するどんど焼きは今年で7回を数え、自治会や諸団体、企業等も連携して開催し地域の冬の風物詩として定着しています。

そして、一昨年からは、地域の新たな取り組みとして自治会や諸団体、国交省等が連携して春祭りを開催するなど活動の輪が広がり、ふれあい広場や水辺の楽校周辺の賑わい創出につながっています。



日本一のどんど焼き



春祭りでの三味線餅つきと野鳥観察会

喜びの声



受賞者

AMEMBO 代表 藤川 雅仁

コメント

この度の受賞は、地域の皆様のご理解とご協力あつての活動が、評価されたものと感謝しております。今後は、これを励みに更なる活動を通して魅力的な街づくりを目指し、活動してまいります。有難うございました。

活動内容

カヤック体験、里山体験（ツリーハウス、観光農園）、食育（そうめん流し、ピザ焼き）祭り（どんど焼き、春祭り）など

活動の経緯

- 平成18年 会の発足
- 平成19年 カヤック体験活動開始
- 平成20年 第1号ツリーハウス完成
- 平成22年 手づくりピザ焼き窯完成
- 平成29年 第7回日本一のどんど焼き開催

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

徳島県美馬市

活動主体及び連絡先

AMEMBO (0883-55-2105 AMEMBO事務所 代表: 藤川雅仁)

対象となる社会資本

吉野川河畔ふれあい広場 ※管理者 美馬市



We Love 石手川 河川大清掃 ～河川環境改善による四国最大の 親水空間の創出～

1 社会資本の概要

石手川親水公園は、四国最大の都市である松山市の中心市街地を流れる一級河川石手川の区間に位置しています。現在では、地域住民のみならず県外からも多数の方が訪れる県下最大の「水と緑あふれる憩いの場」として賑わっています。また、石手川親水公園に隣接する「松山中央公園」は、年間利用者が70万人を越えており、四国唯一のプロ野球オールスター戦が開催された「坊ちゃんスタジアム」を代表とした多数のスポーツ施設等を有する四国最大の複合公園です。



石手川親水公園 整備前



石手川親水公園 完成後



坊ちゃんスタジアム

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

松山白鷺ライオンズクラブは、白鷺を自然のシンボルととらえ「人と自然との共生」を基本理念とした「白鷺の住めるまちづくり」を設立時に掲げています。その基本構想（ビジョン）を基に、緑と水と心のネットワークを形成するため、重信川と石手川の河川敷・水辺空間とそこで憩う市民とを密接に結びつける快適な空間を創出することをきっかけに、清掃活動を開始しました。

活動開始当初は、クラブ会員のみでの41名で活動していましたが、市の子供達を中心として最大で1,600人もの規模に発展してきました。

清掃終了後には、きれいになった自然の中で食事を行い、楽しくボランティアの経験をしてもらうような工夫を行うなど、25年にも渡る活動を継続した結果、市民に知れ渡り、かつ認められる活動となりました。



石手川親水公園の清掃状況



清掃活動終了後に楽しく食事



愛媛県 松山市 松山白鷺ライオンズクラブ



3 活動の成果や波及効果等

地域の周辺状況も25年間で大きく変わってきました。「石手川の環境整備」による河川環境改善や、2017えひめ国体の拠点となる「松山中央公園」が整備され、四国最大の河川環境空間が創出されました。

また、松山市では9年連続で、ゴミ排出量最小を達成しており、この河川大清掃も市民のゴミ意識向上に寄与していると考えられます。

今後は、清掃活動だけにとどまらず、異常気象による災害や南海トラフ巨大地震に備え、防災教育を活動に取り込み、災害時の自助・共助の市民意識に繋げていきたいと考えております。



清掃活動周辺の現在の状況



河川空間の利用増



9年連続1人1日あたりごみ排出量達成(松山市)

喜びの声



受賞者

松山白鷺ライオンズクラブ
会長 梅林 哲次

コメント

結成以来「人と自然との共生」を基本理念とした清掃活動を支えていただいた全ての方と一緒に喜びを分かち合いたいと思います。今後は、清掃活動にとどまらず、災害時の自助、共助の市民意識を啓発していくような活動も愚直に取り組んで行きたいと思っています。

活動内容

青少年育成、安全な環境まちづくり、普及啓発活動 など

活動の経緯

平成4年 クラブ設立(3月)
平成4年 清掃活動開始(10月)
平成29年 結成25周年記念事業として
2017 We Love 石手川を実施

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

愛媛県松山市市坪西町

活動主体及び連絡先

松山白鷺ライオンズクラブ (089-913-1637 事務局担当 林 聖子)

対象となる社会資本

石手川親水公園 ※管理者:国土交通省(河川管理)



流域住民主体で四万十川の 環境保全と地域活性化の活動

1 社会資本の概要

四万十川は豊かな自然環境・景観を有し、かつ川漁など古来より流域住民の暮らしと密着した川として親しまれ、日本最後の清流として全国から注目され、その景観は国選定文化財の「重要文化的景観」にも選定されています。近年、地場産業であるアユや天然スジアオノリの漁獲量が減少し、貴重な財産である四万十川を核とした地域活性化方策がテーマともなっています。その中で、四万十川下流域の入田地区では河川管理者による河川事業によって、菜の花が自然に開花するようになり約10ヘクタールにもわたる菜の花群落が生じ、「菜の花まつり」が開催されるようになりました。



四万十川の豊かな自然環境



落ち鮎漁

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

当協議会は平成14年11月に設立され、現在66団体約1,800人の会員により、四万十川を核とした「川づくり」「人づくり」「まちづくり」を3つの柱として、四万十川の環境保全や地域活性化を目的に、春の「菜の花まつり」をはじめ各種のイベントへの参加、「四万十の水辺八十八カ所」の選定等による流域の観光資源の発掘・PR、貴重植物の保護、河川の清掃など多様な活動を行っています。

また、河川管理者が実施する河川事業に関し、漁協関係者や地元住民による意見交換会や現地研修会の開催、貴重植物等の四万十川自然観察会を行うなど、四万十川を舞台に「みんなで考えみんなで行動」「継続は力」をモットーに四万十川の自然再生・環境保全と地域に役立つ取組を行っています。



四万十川での自然観察会



四万十の水辺八十八カ所めぐり



高知県 四万十市 四万十川自然再生協議会



3 活動の成果や波及効果等

入田地区での「菜の花まつり」は当協議会の発案、取組により実施したのですが、回を重ねる毎に関心の高まりや取組の輪が広がり、今では四万十市、商工会議所、観光協会との関係団体が一丸となって取り組む四万十市の一大観光イベントに発展し、当初は近隣市民を中心に約4,000人の来場者であったものが、今では観光ツアーにも組み込まれるなど、約20,000人の来場者が県内外から訪れています。



河川敷に開花した菜の花を舞台とした「菜の花まつり」



「菜の花まつり」(地元野菜の販売)



「菜の花まつり」(地元の野草学習)

喜びの声



受賞者

四万十川自然再生協議会
会長 西尾 正

コメント

協議会の長年の活動が認められ、この賞を頂いたことを励みに、これからも四万十川の環境保全や地域活性化に向け、地域の皆様と一丸となった活動を続けていきたいと思えます。

活動内容

自然観察会、河川の清掃、地域イベントへの参加、河川事業の現地研修会の開催、観光資源の発掘・PRなど

活動の経緯

平成14年 四万十川自然再生協議会の発足
平成18年 貴重植物マイヅルテンナンショウを発見・保護活動の開始
平成20年 菜の花まつりを企画・開催
平成22年 四万十の水辺八十八カ所を選定

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

高知県四万十市

活動主体及び連絡先

四万十川自然再生協議会 (0880-35-3308 事務局 平石)

対象となる社会資本

一級河川渡川水系四万十川 ※管理者:国土交通省 中村河川国道事務所



郷土の宝・財産「山田堰・堀川用水・水車群」を地域で守ろう

1 社会資本の概要

福岡県朝倉市は、筑後川の中流域に位置する福岡県を代表する穀倉地帯です。かつては度重なる洪水や干ばつにより僅かな水田しかありませんでしたが、江戸時代の農民の命を掛けた英知と技術により、山田堰、堀川用水及び三連水車群が築造され、現在のような水田が広がるまでになりました。この山田堰は、水流の激しい筑後川の水圧を石畳等で緩和する日本でも珍しい構造になっています。また、堀川用水は全長約88kmにわたり、貴重な農業用水路として活躍する一方、生活・防火用水等として市民生活にも欠かせない存在になっています。さらに、維持管理の負担が大きく存続が危ぶまれた三連水車については、地域が一体となった保存活動により今でも現役で稼働しています。平成2年に文化財保護法の史跡に指定、平成26年には世界かんがい施設遺産に登録されるなど、郷土の宝・財産として、多くの市民に愛されています。



筑後川と山田堰



三連水車

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成20年、人口減少や高齢化により施設の存続が危ぶまれ、不法投棄やポイ捨てなどにより環境悪化が進む中、かつての水辺環境を取り戻そうと「堀川の環境を守る会」が発足しました。

毎年「堀川クリーンアップ活動」として用水路の清掃や堤防の草刈等が行われ、農業者だけではなく多くの地域住民が参加しています。その活動内容も環境保全活動にとどまらず、地域住民や来訪者の憩いの場づくりとして、桜並木の整備、コスモス・彼岸花の植栽、三連水車のライトアップ等が行われるなど、その影響が地域全体に広がりを見せています。また、先人の築いた歴史や文化を後世に引き継いでいくため、将来の担い手である小学生を対象とした「水源林体験学習」、「山田堰・堀川用水・水車群の歴史学習」、「水の学習発表会」を継続的に行い、郷土愛の醸成につなげていきます。



堀川クリーンアップ活動



水源林体験学習



福岡県 朝倉市

堀川の環境を守る会 / 山田堰土地改良区



3 活動の成果や波及効果等

「堀川クリーンアップ活動」は、平成20年度に100名から始まり、平成28年度の第9回には、1,009名が参加。活動の継続により不法投棄は皆無となり、空き缶・空き瓶等のポイ捨ても減少しました。今では地域住民や観光客の憩いの場として、年間20万人を超える来訪者が訪れるなど、地域の観光振興にも寄与しています。

また、日々の活動を通じて、地域住民の「山田堰・堀川用水・三連水車群」への関心が高まり、「地域の宝・財産は地域で守る」という意識が根付きつつあります。



ライトアップされた三連水車



山田堰見学状況

喜びの声



受賞者

堀川の環境を守る会
会長 北原 弘人

コメント

この度の受賞は、「堀川の環境を守る会」の更なる飛躍につながると確信しています。地域の宝・財産「山田堰・堀川用水・水車群」を地域で守る啓蒙運動を継続し、次世代に引き継ぐ取り組みを行い、歴史的農業遺産を国内外に情報発信していきます。

活動内容

用水路清掃、植栽、水に関する啓蒙活動、
水車保存活動 など

活動の経緯

平成20年 会の発足
平成24年 水資源功労賞 受賞
平成26年 三連水車保存会設立
世界かんがい施設遺産登録

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

福岡県朝倉市山田地区

活動主体及び連絡先

堀川の環境を守る会 (0946-52-0531) ※功労者: 山崎 長太郎

対象となる社会資本

山田堰(一級河川筑後川)・堀川用水・水車群 ※管理者: 山田堰土地改良区、国土交通省筑後川河川事務所



ふるさとへの熱い思いが 奇跡の堤防を産んだ

1 社会資本の概要

五ヶ瀬川は九州山地に源を発し、高千穂峡などの渓谷を形づくりながら、河口近くで合流する祝子川や北川とともに平野を形成し、日向灘に注いでいる一級河川です。

下流部に位置する宮崎県延岡市は、東九州屈指の工業都市でありながら、五ヶ瀬川の水質は全国でもトップクラスを有しています。この清流五ヶ瀬川は、市民の憩いの場として広く親しまれているばかりではなく、毎年秋には市中心部で日本最長の鮎やなが架設され、全国から多くの観光客が訪れています。延岡市にとって大きな魅力の一つであり、流域における社会・経済・文化の基盤となっています。



清流五ヶ瀬川



日本最長の鮎やな

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

延岡市は、平成18年・19年と周辺の町と合併したものの、人口減少の傾向にあり、また、近年は年間商品販売額も減少する等賑わいを失いかけていました。一方、延岡市を流れる五ヶ瀬川は、全国でも高水準の水質を保ち、自然豊かで貴重なオープンスペースとなっています。

『故郷延岡に恩返しをしたい』その思いを河津桜に寄せて、天下一ひむか桜の会は誕生しました。平成21年から3年にわたり、五ヶ瀬川堤防沿いに河津桜300本を植え、また同年より毎年、菜の花の種をまき、桜と菜の花で美しい花の空間をつくってきました。以来、年間250日の維持管理に努めています。また、市民や団体・企業・行政等にも呼びかけ、活動開始から延べ7,000人が参加し草刈りなどの活動をしてきました。

このような地道な活動を通じて、延岡市の新たな観光名所を目指すことはもちろん、障害者や高齢者、多くの子供などが楽しめる空間作りが進んでいます。



第1回河津桜植樹



堤防に咲く河津桜と菜の花



宮崎県 延岡市

天下一ひむか桜の会／延岡市



3 活動の成果や波及効果等

堤防のコノハナロードは、平成24年度まで開催された「天下一ひむか桜菜の花まつり」の会場となり、平成25年度からは、本東寺や城山にも範囲を広げた「延岡花物語～このはなウォーク～」の主会場となっています。観光客は年々増加し平成28年2月には3万5千人が来場しました。

また、継続して活動を応援するコノハナロード市民応援隊が平成28年に発足し、所属団体に関わりなく誰でも入会できる為、多くの協力者が生まれています。

今では継続的な維持管理活動によって美しい空間が保たれ、観光客や市民がいつでも楽しめる憩いの空間となっています。



延岡花物語



コノハナロード市民応援隊

喜びの声



受賞者

天下一ひむか桜の会 会長 松田 庄司

コメント

この度は、「手づくり郷土賞」を頂いた上に、更に、グランプリに選ばれて、大変うれしく、光栄に思っています。この河津桜による名所作りには、大勢の市民の協力がありました。ご協力を頂いた皆様には、心より、感謝を申し上げます。この賞を励みに、会の活動も更に充実すると思ひますし、市民の協力の輪もさらに広がると思ひます。今後とも、市民の皆さんと共に、「花の名所づくり」と「市民の憩いの空間づくり」に全力で、取り組みます。

活動内容

植樹・植栽、維持管理活動 など

活動の経緯

平成21年 会の発足
 平成24年 延岡ロータリークラブ青い鳥賞 受賞
 平成25年 まちづくり功労感謝状、
 都市景観賞 受賞
 平成28年 延岡観光功労者賞 受賞

手づくり郷土賞
についで

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

宮崎県延岡市野地町地先

活動主体及び連絡先

天下一ひむか桜の会 (090-5459-2674) ※功労者名: 松田 庄司

対象となる社会資本

五ヶ瀬川堤防 ※管理者: 国土交通省延岡河川国道事務所、延岡市



国場川こいのぼりまつり -少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに 誇りを・・・そんな街に住みたい！-

1 社会資本の概要

与那原町・南風原町付近から西に向かって流れる国場川は、豊見城市と那覇市の境界をぬって、ラムサール条約に基づいて登録された湿地保全区域である漫湖に注ぎ、那覇港を経て東シナ海に注いでいます。昭和47年の本土復帰前の那覇市仲井真地域は、農業が盛んな地域であり、地域の中央を流れる国場川は子どもたちが川遊びや魚釣りを楽しんだり、豆腐づくりに使用する海水を汲んだりすることができる清流でした。しかし、復帰後は開発が進み、川へ汚水が流れ込み、全国でもワーストに入るほどの汚い川になってしまいました。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

本地域は、本土復帰以降の急激な都市化に伴い人口が増加し、コミュニティ機能が低下していました。また、地域の中央を流れる国場川も流域の急速な開発とともに河川環境の悪化などの問題も発生していました。そのため、地域から問題解決を求める声が聞こえるようになりました。地域環境の改善を目的として地元有志が「国場川に清流を取り戻す会」を誕生させ「子どもたちのふるさとづくり」の一環として、手づくりこいのぼりによる「国場川こいのぼりまつり」を行うとともに川沿いの清掃や植栽を行うなど河川環境の改善に取り組んでいます。

また、地元小学校の「総合的な学習」の時間にシニア世代が授業に参加することにより世代間の交流に広がり、さらにボランティア活動へ地元の中・高校生が参加することで、より一層の世代間交流を深めることができています。



手づくりのこいのぼり



学生による伝統エイサーがまつりに花を添える



地元小学校での「総合的な学習」の様子



清掃活動前の説明の様子

沖縄県 那覇市

国場川に清流を取り戻す会



3 活動の成果や波及効果等

20年間継続した活動の結果、地域のコミュニティは活発となり国場川は若い二人の人生の門出の場所としても選ばれるようにまでなりました。また、子どもの時にイベントに参加した世代が、親の世代となり子とともに参加するなど世代のつながりが広がっています。



結婚記念の写真撮影



手づくりのこいのぼりを作成中

喜びの声



受賞者

国場川に清流を取り戻す会 会長 嘉数芳則

コメント

気が付けば「国場川こいのぼりまつり」は20回目。まつりを通して人の輪が広がり、さらに思いがけない「手づくり郷土賞（一般部門）」の受賞で関係者一同感激しています。改めて地域の皆様に感謝します。～少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを・・・そんな街に住みたい！～を合言葉に頑張ります。

活動内容

手づくりこいのぼりまつり、
地元小学校の総合的な学習への参加
河川周辺の清掃活動 など

活動の経緯

平成9年～ 毎年5月に「国場川こいのぼりまつり」
を開催・河川周辺の清掃活動
平成13年 サガリバナ植栽プロジェクト
平成23年 国場川さくら並木プロジェクト事業

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

沖縄県那覇市

活動主体及び連絡先

国場川に清流を取り戻す会 (098-853-8492)

対象となる社会資本

二級河川 国場川 ※管理者：沖縄県



手づくり郷土賞 選定一覧

◆ 年度別テーマ一覧 (Part1～Part26)

Part1

昭和 61 年度	人と風土が育てた家並	30選
	ふるさとが誇りとする橋	30選
	ふれあいの水辺	30選

Part2

昭和 62 年度	いきいきとした楽しい街並み	30選
	ふれあいの並木道	30選
	水辺の風物詩	30選

Part3

昭和 63 年度	小さなふれあいの広場	30選
	ふるさとに恵みを与える川	30選
	やすらぎとるおいのある歩道	30選

Part4

平成 元 年度	いこいとふれあいの道	30選
	生活の中にいきる水辺	30選
	歴史をいかした街並み	30選

Part5

平成 2 年度	街灯のある街角	30選
	生活を支える自然の水	30選
	花と緑の手づくりふるさと	30選
	ふるさとの坂道	30選

Part6

平成 3 年度	施設部門	30選
	素材部門	30選

Part7

平成 4 年度	くらしに根づく施設	30選
	ふるさとの色と光	30選

Part8

平成 5 年度	自然とふれあう水辺づくり	30選
	出会いを演出する街角	30選
	ふるさとの風景にとけこむ道	30選

Part9

平成 6 年度	人々が集い憩う水辺づくり	30選
	ふるさとの文化を育む街角の広場	30選
	ふるさとを紹介する道	30選

Part10

平成 7 年度	コミュニティー部門	30選
	自然部門	30選
	歴史・文化部門	30選

Part11

平成 8 年度	テーマを設定せず	37選
---------------	----------	-----

Part12

平成 9 年度	テーマを設定せず	40選
---------------	----------	-----

Part13

平成 10 年度	テーマを設定せず	38選
----------------	----------	-----

Part14

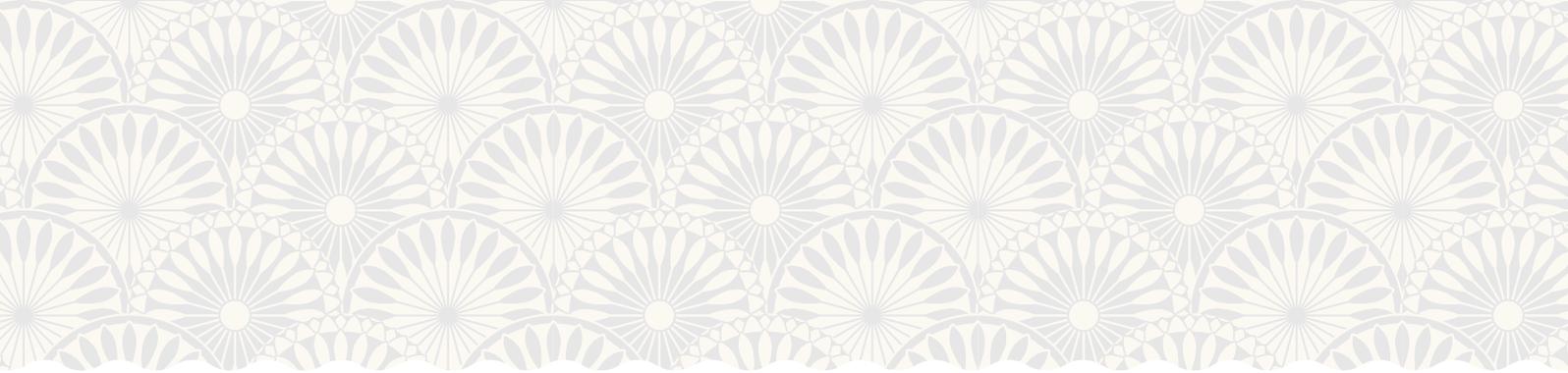
平成 11 年度	テーマを設定せず	32選
----------------	----------	-----

Part15

平成 12 年度	テーマを設定せず	30選
----------------	----------	-----

Part16

平成 13 年度	地域整備部門	20選
	地域活動部門	9選



Part17

平成 14 年度	地域整備部門	15選
	地域活動部門	11選

Part18

平成 15 年度	地域整備部門	13選
	地域活動部門	10選

Part19

平成 16 年度	地域整備部門	6選
	地域活動部門	11選

Part20

平成 17 年度	地域整備部門	8選
	地域活動部門	12選
	大賞部門	37選

Part21

平成 18 年度	地域整備部門	7選
	地域活動部門	14選
	大賞部門	9選

Part22

平成 19 年度	地域整備部門	7選
	地域活動部門	9選
	大賞部門	11選

Part23

平成 20 年度	一般部門	13選
	大賞部門	2選

Part24

平成 21 年度	一般部門	17選
	大賞部門	2選

Part25

平成 22 年度	一般部門	22選
	大賞部門	3選

Part26

平成 23 年度	一般部門	12選
	大賞部門	4選

Part27

平成 24 年度	一般部門	16選
	大賞部門	2選

Part28

平成 25 年度	一般部門	17選
	大賞部門	3選

Part29

平成 26 年度	一般部門	15選
	大賞部門	5選

Part30

平成 27 年度	一般部門 (公開審査による選考)	15選
	大賞部門	7選

Part31

平成 28 年度	一般部門	20選
	大賞部門	2選

ふるさと

手づくり郷土賞 選定一覧

◆ 選定案件一覧

昭和61年度

人と風土が育てた家並

都道府県	市区町村	件名	
青森県	黒石市	こみせ	★H17大賞
秋田県	仙北市	武家屋敷	★H17大賞
山形県	上山市	榎下宿	★H17大賞
福島県	喜多方市	蔵のまち	
福島県	下郷町	大内宿	★H17大賞
栃木県	栃木市	巴波川沿川家並	★H17大賞
群馬県	甘楽町	小幡城下町の伝統的家並	
新潟県	上越市	高田の雁木	★H17大賞
富山県	高岡市	銅器のまち金屋町通り	★H17大賞
富山県	南砺市	信仰と木彫の里八日町通り	
石川県	金沢市	長町武家屋敷群	
長野県	南木曾町	妻籠宿の家並	★H19大賞
岐阜県	高山市	三之町の家並	
岐阜県	恵那市	旧家の家並	
岐阜県	白川村	合掌集落	
愛知県	名古屋市中	有松	
滋賀県	大津市	石積みの町	
滋賀県	東近江市	五個荘町金堂	★H17大賞
和歌山県	新宮市	別当屋敷町の家並	
鳥取県	倉吉市	土蔵造りの家並	★H17大賞
島根県	津和野町	藩政時代の街並	★H17大賞
岡山県	倉敷市	倉敷市の伝統的街並	★H17大賞
広島県	竹原市	竹原市伝統的町並	★H24大賞
徳島県	美馬市	うだつと白壁の町並	★H17大賞
香川県	丸亀市	本島笠島集落家並	
佐賀県	有田町	ドンバイ堀のある裏通り	
長崎県	長崎市	長崎新地中華街	
宮崎県	日向市	美々津の歴史的街並	★H17大賞
鹿児島県	知覧町	武家屋敷通り	
沖縄県	竹富町	竹富町家並	★H17大賞

ふるさとが誇りとする橋

都道府県	市区町村	件名	
北海道	上砂川町	野鳥の橋	
北海道	鷹栖町	北野橋	
岩手県	盛岡市	御殿橋	
秋田県	横手市	学校橋	
山形県	新町めがね橋		
山形県	長井市	撞木橋	
福島県	喜多方市	東大橋	
埼玉県	川口市	青木橋	
埼玉県	草加市	辰井川6橋	
東京都	港区	中之橋	
神奈川県	横浜市	夕照橋	
新潟県	新潟市	万代橋	
富山県	射水市	虹の神楽橋	
石川県	金沢市	犀川大橋	
福井県	福井市	新明里橋	
山梨県	大月市	猿橋	
長野県	飯綱町	天の浮橋	
岐阜県	恵那市	大井橋	
静岡県	浜松市	枕瀬橋	
三重県	菟野町	あかね橋	
大阪府	大阪市	錦橋	
奈良県	十津川村	谷瀬橋	
岡山県	岡山市	相生橋	
広島県	広島市	横川橋	
徳島県	三好市	祖谷のかずら橋	
愛媛県	西条市	伊曾の橋	
高知県	安芸市	土居橋	
長崎県	長崎市	長崎中島川石橋群	
熊本県	山都町	通瀬橋	
熊本県	津奈木町	あけぼの橋	

ふれあいの水辺

都道府県	市区町村	件名	
北海道	札幌市	鴨々川遊び場	
北海道	福島町	新緑公園	
岩手県	一関市	磐井川	
宮城県	栗原市	迫川	
山形県	山形市	馬見ヶ崎川	
茨城県	潮来市	潮来漕艇場	
群馬県	前橋市	広瀬川河畔緑地緑道	★H17大賞
群馬県	桐生市	境野水処理センター屋上公園	
千葉県	船橋市	街かど美術館	
東京都	江戸川区	小松川境川親水公園	★H17大賞
神奈川県	小田原市	小八幡川親水護岸	
富山県	小矢部市	花菖蒲の小矢部河川公園	
岐阜県	岐阜市	早田川	
愛知県	名古屋市	水の小径	
滋賀県	近江八幡市	八幡堀	★H17大賞
滋賀県	高月町	雨森	★H17大賞
京都府	南丹市	大堰川・寅天堰	
大阪府	岸和田市	大城川緑道	
兵庫県	尼崎市	武庫川六樋水系、ホテルの里づくり	
鳥取県	鳥取市	流しびの水辺	
岡山県	岡山市	西川緑道公園	★H17大賞
広島県	大崎上島町	野賀海岸	
広島県	福山市	堂々公園	
山口県	防府市	佐波川堂の川	
愛媛県	西予市	野村ダム公園	★H18大賞
高知県	土佐町	早明浦湖ふれあい広場	
福岡県	北九州市	槻田せせらぎ広場	
佐賀県	佐賀市	多布施川遊び場	
大分県	竹田市	中島河川プール	
宮崎県	小林市	本庄河川プール	

昭和62年度

いきいきとした楽しい街並み

都道府県	市区町村	件名	
青森県	田子町	サンモールたっこ	
宮城県	仙台市	一番街ショッピングモール	
秋田県	秋田市	秋田駅前買物広場	
山形県	酒田市	酒田ショッピングモール	
福島県	会津若松市	大通り	
茨城県	日立市	日立銀座ショッピングモール	
茨城県	土浦市	川口ショッピングモール	
埼玉県	川口市	ショッピングモールふじの市通り	
千葉県	香取市	小野川周辺の町並	★H17大賞
東京都	中央区	馬喰町商店街	
東京都	足立区	東和銀座商店街	
神奈川県	横浜市	イセザキモール	
新潟県	十日町市	雪まつりと流雪溝のまち	
富山県	高岡市	ふれあいの橋通り	
富山県	南砺市	合掌家屋と民謡こきりこの里	
山梨県	甲府市	かすがもーる	
長野県	佐久市	中込グリーンモール	
岐阜県	岐阜市	美殿町通り	
岐阜県	可児市	桜ヶ丘ハイソの街並みと家並み	
京都府	京都市	三条通り歴史的かいわい景観地区	
大阪府	岸和田市	岸和田駅前通り	
兵庫県	神戸市	北野町山本通	★H17大賞
和歌山県	高野町	高野町内街路	
岡山県	高梁市	ふれあい広場と美観地区	
徳島県	徳島市	紺屋町シンボルロード	
福岡県	福岡市	大橋駅前通り	
佐賀県	有田町	陶磁の香りのする駅前通り	
大分県	日田市	日田の街並	
宮崎県	日南市	本町商人通りの街並	★H25大賞
沖縄県	沖縄市	中央パークアベニュー	

ふれあいの並木道

都道府県	市区町村	件名	
北海道	釧路市	出世坂	
岩手県	北上市	展勝地公園	
宮城県	仙台市	仙台市ケヤキ並木	
山形県	高島町	まほろばの緑道	
茨城県	日立市	けやき通りと歩道	
栃木県	さくら市	桜並木線	
群馬県	前橋市	ふるさとのケヤキ並木	
埼玉県	春日部市	藤どおり	
埼玉県	草加市	草加松原遊歩道	
東京都	世田谷区	けやき広場	
神奈川県	横浜市	大岡川プロムナード	
神奈川県	川崎市	市役所通りモール	
富山県	富山市	松川べり	
石川県	金沢市	中央公園通り	
岐阜県	中津川市	四ツ目川の桜並木	
岐阜県	恵那市	岩村城登城坂	
静岡県	浜松市	二俣川「水辺の桜並木」	
三重県	津市	三多気の桜	
大阪府	大阪市	みおつくしプロムナード	
兵庫県	神戸市	税関線シンボルロード	
兵庫県	宝塚市	花のみち	
奈良県	橿原市	橿原神宮公園緑の並木道	
岡山県	岡山市	鳥城みち	
広島県	呉市	美術館通り	
広島県	広島市	あいふる316	
山口県	光市	なぎさへの道	
高知県	土佐清水市	足摺岬の散歩道	
福岡県	北九州市	出あい坂	
長崎県	島原市	白土湖畔緑道	
沖縄県	久米島町	フクギ並木と道路	

水辺の風物詩

都道府県	市区町村	件名	
北海道	旭川市	せせらぎ小路	
岩手県	盛岡市	御所湖広域公園	★H18大賞
秋田県	大仙市	雄物川河川緑地	
栃木県	下野市	大松山運動公園	
埼玉県	さいたま市	千賀橋水郷公園	
千葉県	千葉市	稲毛海浜公園	
新潟県	新潟市	早川堀のイメージ復元	
富山県	黒部市	黒部川扇状地の湧水群	
石川県	金沢市	浅野川～加賀友禅灯ろう流し	
福井県	大野市	お清水	
長野県	上田市	長池公園のせせらぎ広場	
静岡県	浜松市	森の水車	
愛知県	名古屋市中	宮の渡し公園	
愛知県	名古屋市中	庄内水緑道	
滋賀県	愛荘町	新愛知川フラワープロムナード	
大阪府	大阪市	河川(今川)「せせらぎの復活」	
和歌山県	白良浜	白良浜	
鳥取県	湯梨浜町	東郷湖	
島根県	松江市	北松江の穴道湖岸	
広島県	廿日市市	紅葉谷川庭園砂防	★H17大賞
広島県	安芸高田市	土師タ「嵐」-ツラノ	★H18大賞
山口県	山口市	一の坂川ホテル護岸	★H17大賞
山口県	周南市	東川緑地公園	
香川県	丸亀市	土器川河川敷広場	
愛媛県	大洲市	脇川の鶴岡	
高知県	高知市	鏡川みどりの広場	
福岡県	朝倉市	朝倉の三連水車	
熊本県	宇土市	轟水源	
大分県	別府市	境川の水辺	
鹿児島県	加治木町	網掛川	

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

昭和63年度

小さなふれあい広場

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists various small community spaces across Japan.

ふるさとに恵みを与える川

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists rivers and waterways that benefit local communities.

やすらぎとうるおいのある歩道

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists pleasant and comfortable sidewalks.

平成元年度

いこいとふれあいの道

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists roads that promote well-being and community interaction.

生活の中にいきる水辺

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists waterfront areas integrated into daily life.

歴史をいかした街並み

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists streetscapes that preserve and utilize local history.

平成2年度

街灯のある街角

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists street lighting projects across various prefectures like 岩手県, 宮城県, etc.

生活を支える自然の水

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists water supply and environmental projects across various prefectures.

花と緑の手づくりふるさと

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists flower and greenery projects across various prefectures.

ふるさとの坂道

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists historical and scenic street projects across various prefectures.

平成3年度

施設部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists facility projects across various prefectures.

素材部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists material and craft projects across various prefectures.

平成4年度

くらしに根づく施設

Table with 3 columns: 都道府県 市区町村, 件名. Lists various community facilities across Japan for Heisei 4.

ふるさとの色と光

Table with 3 columns: 都道府県 市区町村, 件名. Lists various scenic spots and landmarks across Japan for Heisei 4.

平成5年度

自然とふれあう水辺づくり

Table with 3 columns: 都道府県 市区町村, 件名. Lists various water-related projects across Japan for Heisei 5.

出合いを演出する街角

Table with 3 columns: 都道府県 市区町村, 件名. Lists various street corner projects across Japan for Heisei 5.

ふるさとの風景にとけむ道

Table with 3 columns: 都道府県 市区町村, 件名. Lists various scenic routes across Japan for Heisei 5.

平成6年度

人々が集い憩う水辺づくり

Table with 3 columns: 都道府県 市区町村, 件名. Lists various water-related projects for Heisei 6.

ふるさとの文化を育む街角の広場

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists award-winning projects across various prefectures.

ふるさとを紹介する道

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects that introduce local culture and scenery.

平成7年度

コミュニティ部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists community projects from Heisei 7.

自然部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists nature-related projects from Heisei 7.

歴史・文化部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists history and culture projects from Heisei 7.

平成8年度

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists award-winning projects across various prefectures for Heisei 8.

福岡県	北九州市	山田緑地
福岡県	久留米市	酒蔵とせせらぎ公園
佐賀県	伊万里市	秘窯の里
熊本県	嘉島町	矢形川湧水天然プール
宮崎県	日向市	牧水公園
沖縄県	糸満市	西崎親水公園

平成9年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	伊達市	まれふふれあい公園
岩手県	遠野市	遠野浄化センター
岩手県	宮古市	リバーパークにいさと
岩手県	洋野町	大野村産業デザインセンター
秋田県	八郎潟町	せせらぎのある公園 ★H19大賞
山形県	小国町	白い森オートキャンプ場
埼玉県	蕨市	中山道ふれあい広場
埼玉県	神川町	金銀清流公園
東京都	品川区	大森貝塚遺跡庭園
東京都	世田谷区	ふれあいの水辺(北沢川緑道)
東京都	江戸川区	左近川親水緑道
神奈川県	横浜市	舞岡公園
神奈川県	横浜市	和泉川「東山の水辺」
富山県	朝日町	ハーバルパレオがわ
富山県	南砺市	瞑想の郷
石川県	白山市	獅子吼山麓の苑
福井県	勝山市	桜つつみ整備事業
福井県	大野市	歴史の里
岐阜県	関市	津井谷ふるさと砂防公園
静岡県	静岡市	駿府城二之丸東御門
愛知県	設楽町	つく高原グリーンパーク
三重県	津市	マリナー河芸
京都府	亀岡市	水鳥のみち
大阪府	柏原市	アquareードかしわら
兵庫県	養父市	福定親水公園
鳥取県	境港市	水木しげるロード ★H21大賞
鳥取県	日野町	黒坂カワコふれあい公園
鳥根県	奥出雲町	せせらぎの里 砂田川
岡山県	高梁市	風の舞台「石の風ぐるま」
広島県	三原市	はては川自然公園
高知県	高知市	追手前公園地下駐輪場
高知県	四万十町	木の香る道づくり
福岡県	大川市	メロディロード
佐賀県	東与賀町	千湯ギャラリー
長崎県	長崎市	長崎公園
長崎県	波佐見町	やさもの公園
熊本県	八代市	砥崎の河原
熊本県	長洲町	陸の白台「黄桜の水路」
宮崎県	美郷町	西の白倉院
沖縄県	伊是名村	尚円王御庭公園

平成10年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	ポプラ通中央緑地
北海道	芦別市	旭ヶ丘公園
青森県	弘前市	プレアデス(昴)のまちづくり
岩手県	花巻市	南部杜氏の里
秋田県	由利本荘市	陸の白台「黄桜の里」
群馬県	伊勢崎市	子供のもり公園伊勢崎
埼玉県	飯能市	あけぼの子どもの森公園
埼玉県	深谷市	中宿歴史公園・道の駅おかべ
東京都	足立区	大門自然プチテラス
東京都	葛飾区	黄さんと矢切の渡し「柴又公園」
東京都	江戸川区	平井駅通りふれあい道路
神奈川県	横浜市	入江川せせらぎ緑道
神奈川県	横浜市	いたち川・稲荷森の水辺
新潟県	新潟市	白山公園「燕喜館」
石川県	加賀市	大聖寺川ふるさとの川
福井県	大野市	元町会館(七間通り)

平成11年度

山梨県	身延町	身延駅前しょうにん通り
愛知県	田原市	旭町はなとき通り
三重県	四日市市	水と緑のせせらぎ広場
滋賀県	近江八幡市	上の湧水の里
京都府	亀岡市	祭にであう道づくり
大阪府	吹田市	水と緑のプロムナード
兵庫県	姫路市	手柄山中央公園
兵庫県	芦屋市	仲ノ池緑地
兵庫県	香美町	但馬高原植物園-瀬川平-
和歌山県	田辺市	ミュージックパーク・たなべ
鳥根県	雲南市	清流と親しむやさしい水辺
岡山県	岡山市	池の内大池湖畔公園
岡山県	倉敷市	アンデルセン広場
岡山県	津山市	ごんご通り
広島県	呉市	狩留賀海浜公園
徳島県	徳島市	しんまちボードウォーク
愛媛県	大洲市	ふるさと公園
福岡県	北九州市	洲浜ひろば
福岡県	長崎市	長崎歴史探訪路
熊本県	玉名市	秋丸日鏡橋
大分県	豊後高田市	湯前公園
沖縄県	北谷町	北谷町営業栄口住宅

平成12年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	上川町	上川・層雲峡プラン65再整備計画
岩手県	雫石町	雫石銀河ステーション・ボランの広場
宮城県	仙台市	仙台市彫刻のあるまちづくり
秋田県	にかほ市	道の駅「象潟」ねむの丘
山形県	鶴岡市	ふるさと水辺-内川-
東京都	葛飾区	身近な水辺再生事業「四つ木だかの小道」
東京都	江戸川区	宿川親水緑道
神奈川県	横浜市	江川せせらぎ
新潟県	村上市	まいづる公園
長野県	長野市	善光寺表参道大門町
岐阜県	岐阜市	玉宮通りまちづくり
愛知県	名古屋市	相生山緑地「オアシスの森」
滋賀県	守山市	自然にふれあう散歩道
滋賀県	野洲市	中山道・外和木の橋
滋賀県	高月町	冷水寺町公民館資料館
滋賀県	高島市	城下町活性化施設「びれっじ」
京都府	南丹市	スプリングスひよし
大阪府	羽曳野市	であいのみち
奈良県	広陵町	竹取公園
鳥取県	米子市	弓ヶ浜公園 みんなの遊具広場
岡山県	岡山市	オランダ東通り
岡山県	笠岡市	小田原門せせらぎの道
広島県	広島市	天神川プロムナード
山口県	防府市	防府市地域交流センター「アスピラート」
香川県	高松市	太田第2シンボル地区レインボーロード
愛媛県	松野町	虹の森公園
高知県	四万十町	道の駅「四万十大正」
福岡県	北九州市	畑貯水池周回自転車歩行者道路
長崎県	東彼杵町	河川公園 やすらぎの里
熊本県	山都町	ふれあい公園 杜のいづみ
熊本県	天草市	倉島町えびすビーチ
沖縄県	宮古島市	皇古町カントリーパーク

平成13年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	滝川市	たきかわスカイパーク ★H27大賞
岩手県	盛岡市	仙北西部地区自転車歩行者道ネットワーク みちくさ通り 外5路線
秋田県	湯沢市	道の駅あがち「小町の郷」
福島県	郡山市	せせらぎこみち
福島県	南会津町	前沢曲家集落
群馬県	高崎市	ハープの道
千葉県	館山市	館山駅オレンジロード、

東京都	大田区	西口なぎさ広場、夕映え通り
東京都	足立区・葛飾区	蒲田駅東口(区役所前本通り)
東京都	葛飾区	古隅田川緑道
東京都	葛飾区	水と緑と歴史のフィールドミュージアム「曳舟川親水公園」
神奈川県	川崎市	加瀬ふれあいの広場(緊急避難場所)
新潟県	十日町市	神明水辺公園
富山県	南砺市	桜並木の城端神明通り
石川県	加賀市	北前船の里づくり「橋立町」
福井県	若狭町	若狭鯖街道 熊川宿 ★H23大賞
長野県	飯田市	りんご並木 ★H20大賞
愛知県	名古屋市	ランの館
滋賀県	近江八幡市	安らぎのある農の里 耕遊庵
兵庫県	神戸市	野田北部の小径
兵庫県	朝来市	あさご芸術の森
鳥根県	奥出雲町	斐伊川わくわくプール
鳥根県	出雲市	海辺の交流舞台「キララ多伎」
鳥根県	吉賀町	安蔵寺山麓ゴジの郷
岡山県	矢掛町	ふれあいこみち
山口県	美祿市	ピオトープのある川
徳島県	鳴門市	撫養川ふるさとプロムナード
福岡県	宮若市	犬鳴川河川公園
長崎県	島原市	中央公園
大分県	大分市	七瀬川自然公園
鹿児島県	三島市	俊寛堂公園

平成13年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	北竜町	ひまわりの里
北海道	苫前町	夕陽ヶ丘ウインドファーム・風来望
宮城県	登米市	大蓋沢深流公園
福島県	郡山市	南川渓谷
埼玉県	富士見市	難波田城公園
東京都	港区	新芝園河沿緑地
東京都	葛飾区	葛飾あらかわ水辺公園
富山県	立山町	前沢中央公園
長野県	松本市	縄手通り
愛知県	犬山市	犬山城下町地区(どんでん屋、大本町通り) ★H22大賞
滋賀県	近江八幡市	清流と石工の里づくり
京都府	舞鶴市	市道追手紺屋緑線
京都府	向日市	竹の経 ★H26大賞
大阪府	枚方市	枚方宿健屋資料館
鳥根県	松江市	ウォーキング・トレイル「はにわロード」
岡山県	倉敷市	川辺ふるさとピオトープ
香川県	東かがわ市	とらまる公園
愛媛県	西予市	茅葺き民家交流館(土居家)
長崎県	島原市	青い理髪館
沖縄県	宮古島市	うえのドイツ文化村(村営住宅)

地域整備部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	北見市	香リヤんせ公園
岩手県	一関市	吸川・自然豊かなせせらぎを再び
福島県	玉川村	玉川村花いっぱい運動
神奈川県	横浜市	ホテルの里水辺愛護会
神奈川県	川崎市	飛森谷戸の自然を守る会 ★H20大賞
新潟県	長岡市	表町の雁木づくり ★H26大賞
兵庫県	尼崎市	築地地区復興委員会
広島県	尾道市	瀬戸内しまなみ大学
大分県	佐伯市	マリシアターinまるいちび

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	香リヤんせ公園
岩手県	一関市	吸川・自然豊かなせせらぎを再び
福島県	玉川村	玉川村花いっぱい運動
神奈川県	横浜市	ホテルの里水辺愛護会
神奈川県	川崎市	飛森谷戸の自然を守る会 ★H20大賞
新潟県	長岡市	表町の雁木づくり ★H26大賞
兵庫県	尼崎市	築地地区復興委員会
広島県	尾道市	瀬戸内しまなみ大学
大分県	佐伯市	マリシアターinまるいちび

平成14年度

地域整備部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists award-winning projects in the Regional Improvement Department for Heisei 14.

地域活動部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists award-winning projects in the Regional Activity Department for Heisei 14.

平成15年度

地域整備部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists award-winning projects in the Regional Improvement Department for Heisei 15.

地域活動部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists award-winning projects in the Regional Activity Department for Heisei 15.

平成16年度

地域整備部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists award-winning projects in the Regional Improvement Department for Heisei 16.

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Regional Improvement Department for Heisei 14.

地域活動部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Regional Activity Department for Heisei 14.

平成17年度

地域整備部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Regional Improvement Department for Heisei 17.

地域活動部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Regional Activity Department for Heisei 17.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Grand Award Department for Heisei 17.

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Regional Improvement Department for Heisei 14.

平成18年度

地域整備部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Regional Improvement Department for Heisei 18.

地域活動部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Regional Activity Department for Heisei 18.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県, 市区町村, 件名. Lists projects in the Grand Award Department for Heisei 18.

平成19年度

地域整備部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 福島県 桑折町, 東京都 稲城市, etc.

地域活動部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 北海道 室蘭市, 茨城県 行方市, etc.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 北海道 岩見沢市, 岩手県 盛岡市, etc.

平成20年度

一般部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 北海道 足寄町, 宮城県 東松島市, etc.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 新潟県 長岡市, 長野県 飯田市, etc.

平成21年度

一般部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 北海道 旭川市, 北海道 紋別市, etc.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 茨城県 下妻市, 鳥取県 境港市, etc.

平成22年度

一般部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 北海道 北広島市, 北海道 木古内町, etc.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 愛知県 犬山市, 大阪府 大阪市, etc.

平成23年度

一般部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 北海道 えりも町, 栃木県 那須町, etc.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 静岡県 三島市, 福井県 若狭町, etc.

平成24年度

一般部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 北海道 上士幌町, 秋田県 大館市, etc.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名. Includes entries for 茨城県 日立市, 広島県 竹原市, etc.

平成25年度

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists award winners for Heisei 25.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists Grand Prize winners for Heisei 25.

平成26年度

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists award winners for Heisei 26.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists Grand Prize winners for Heisei 27.

平成27年度

一般部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists award winners for Heisei 27.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists Grand Prize winners for Heisei 27.

平成28年度

一般部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists award winners for Heisei 28.

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists award winners for Heisei 29.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists Grand Prize winners for Heisei 29.

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists award winners for Heisei 30.

大賞部門

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists Grand Prize winners for Heisei 30.

平成28年度

Table with 3 columns: 都道府県市区町村, 件名, 内容. Lists award winners for Heisei 28.

精
選

ふるさと
手づくり郷土賞

手づくり郷土賞



手づくり郷土賞HP: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

お問い合わせ先

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番3号

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課

TEL 03-5253-8111 (代表)
